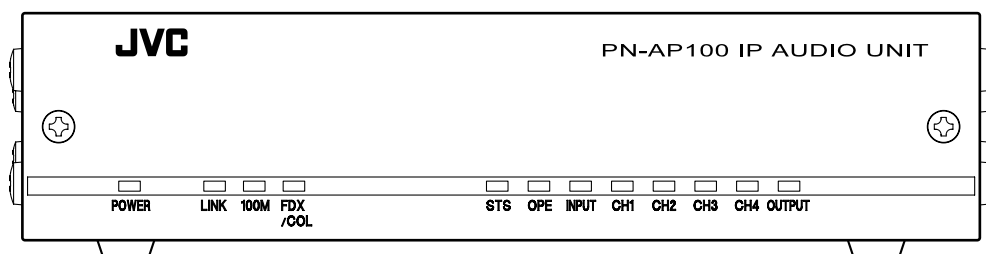


JVC

IP オーディオユニット

型名 **PN-AP100**

取扱説明書
(B)



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

特長

高音質な音声

本商品は、サンプリング周波数 48 kHz の広帯域なオーディオ信号を独自フォーマット圧縮、または非圧縮で処理します。

パケットロスが発生したときは、補正機能によりなめらかな音声で聴きとれます。

音声をネットワークへ送信

本商品は圧縮または非圧縮の音声データをネットワーク送信することができます。

音声をネットワークから受信して出力

本商品はネットワーク送信された音声データを受信して、オーディオ信号として出力できます。

システム構成が容易

入力機器やアンプなどを任意の場所に設置でき、システム変更や増設が容易にできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	3
正しくお使いいただくためのご注意	4
各部の名称とはたらき	6

準備

使用するまでの手順	9
PN-AP100 を設置する	10

設定

ネットワーク構築について	14
IP アドレスを設定する	16
放送モードを設定する	20
入力 / 出力ユニット数を設定する	20
入力 / 出力チャンネルを設定する	22
起動入力 / 出力を設定する	26
音量を設定する	27

ネットワークの変更

PN-AP100 を新たに追加する	28
放送モードを変更する	30

メニュー一覧


トップメニュー	31
ネットワーク設定	32
システム情報設定	33
バススルー回線の設定	35
マトリックス回線の設定	36
双方向回線の設定	38
入力 / 出力チャンネルの設定	39
起動入力 / 出力設定	40
動作状況	42
機器情報	44
ログ表示	46
メンテナンス	48

その他

こんなときは	49
保証とアフターサービス	50
仕様	51

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
- メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

次のような場所では保管または使用しないでください。誤動作や故障の原因となります。

- 許容動作温度（0℃～+40℃）範囲外の暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（20%RH～80%RH）範囲外の湿気の多いところ（結露なきこと）
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ

PN-AP100の取り扱いについて

- 機器内部の温度上昇を防ぐため、機器を重ねて使用しないでください。
- PN-AP100を立てて使用しないでください。
- ショックを与えないよう、丁寧にお取り扱いください。
- 電源を完全に遮断するときは、電源プラグをコンセントから抜くか、PN-AP100のACアダプターから電源コードを抜いてください。

設置について

- PN-AP100は電源コンセントの近くに設置してください。
- ACアダプターおよび電源コードは付属のものをお使いください。
- 付属以外のACアダプターとコードを使用したり、傷んでいるコードを使用すると火災や感電の原因となります。
- 付属のACアダプターおよび電源コードは、PN-AP100以外の機器で使わないでください。
- PN-AP100の上にモニターテレビなどの重いものをのせないでください。動作不良をおこす恐れがあります。設置については必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- PN-AP100はやわらかい布でふいてください。
- シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

電波障害について

PN-AP100 は VCCI（情報処理装置等電波障害自主規制協議会）クラス A 情報装置の基準に適合した製品ですが、テレビやラジオ受信機、無線機などの近くで使用しますと、画面が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。このようなときは、以下の処置を試してください。

- PN-AP100 をラジオ・テレビから離すか、向きを変えてみてください。
- 室内アンテナをご使用のときには、アンテナの向きや位置を変えてみてください。
- ラジオ・テレビの電源コンセントとは別のコンセントを使ってみてください。
- 電源コンセントと電源プラグとの間に、市販されているノイズフィルタを入れてみてください。

省エネについて

■ 長時間使用しないときは、安全および節電のため電源を切ってください。

免責事項について

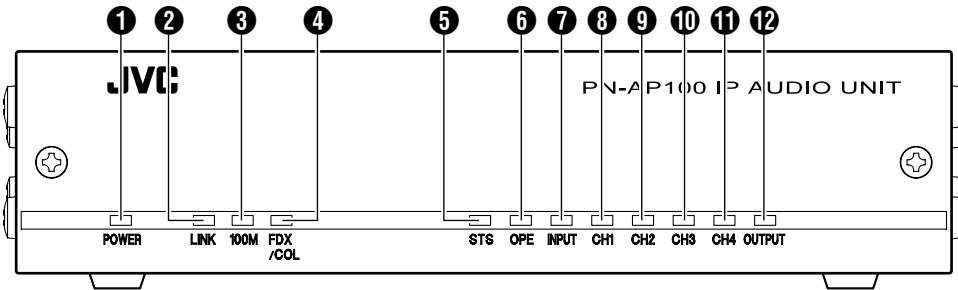
■ 万一、PN-AP100 およびコンピューターソフトウェアなどの不具合により、正常に動作しなかった場合の補償についてはご容赦ください。

GPL について

PN-AP100 に搭載されているソフトウェアの一部は、GNU 一般公衆利用許諾（GPL = General Public License）に該当するフリーソフトウェアです。GPL に該当するフリーソフトウェアについては、PN-AP100 のメニュー一覧をご覧ください。

各部の名称とはたらき

前面



① [POWER] パワーランプ

PN-AP100 の電源が入っているときに点灯します。

② [LINK] リンクランプ

PN-AP100 がネットワークと接続されているときに点灯します。

③ [100M]100M ランプ

- PN-AP100 がネットワークと接続されているときの通信速度を示します。
- 100BASE-TX で接続されているときに点灯します。
- 10BASE-T のときは消灯します。

ご注意:

- PN-AP100は必ず100BASE-TXでお使いください。

④ [FDX/COL] フルデュプレックス / コリジョンランプ

- PN-AP100 がネットワークと全 2 重で接続されているときに点灯します。
- PN-AP100 がネットワークと半 2 重で接続されているときに消灯します。
- ネットワークにてコリジョンが起こったときに点滅します。

⑤ [STS] ステータスランプ

PN-AP100 が正常に起動した時点で点灯します。起動中に問題があったときは点滅し、[CH1] ⑧ ~ [CH4] ⑪ のチャンネルランプでエラーの内容を示します。(☞ 49 ページ『こんなときは』)

⑥ [OPE] オペレーションランプ

- PN-AP100 が運用中のときに点灯します。
- PN-AP100 の設定中は点滅します。

⑦ [INPUT] インพุットランプ

- PN-AP100 が入力ユニットとして動作しているときに点灯します。[CH1] ⑧ と [CH2] ⑨ のチャンネルランプが各チャンネルの状態を示します。
- PN-AP100 が出力ユニットとして動作しているときは消灯しています。
- PN-AP100 が出力ユニットとして動作しており、[AUDIO IN] 端子に入力されている音声を、ネットワークへ送信しているときは点滅します。(放送モードが“双方向モード”または“マトリックスモード”の場合のみ)

⑧ [CH1] 1 チャンネルランプ

PN-AP100 の入出力状態を示します。

- [AUDIO IN 1CH] 端子に入力されている音声を、ネットワークへ送信しているときに点灯します。音声ネットワークへ送信されていないときは消灯しています。
- [AUDIO OUT 1CH] 端子から音声出力可能になるときに点灯します。

⑨ [CH2] 2チャンネルランプ

PN-AP100の入出力状態を示します。

- [AUDIO IN 2CH]端子に入力されている音声をネットワークへ送信しているときに点灯します。音声ネットワークへ送信されていないときは消灯しています。
- [AUDIO OUT 2CH] 端子から音声出力可能なときに点灯します。

⑩ [CH3] 3チャンネルランプ

PN-AP100の出力状態を示します。

- [AUDIO OUT 3CH] 端子から音声出力可能なときに点灯します。

⑪ [CH4] 4チャンネルランプ

PN-AP100の出力状態を示します。

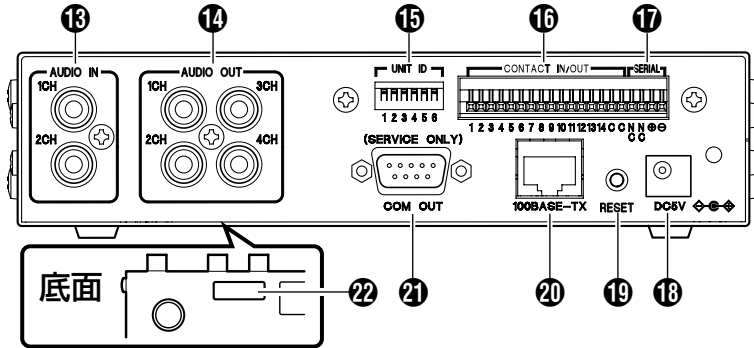
- [AUDIO OUT 4CH] 端子から音声出力可能なときに点灯します。

⑫ [OUTPUT] アウトプットランプ

- PN-AP100が出力ユニットとして動作しているときに点灯します。[CH1] ⑧ から [CH4] ⑪ のチャンネルランプが各チャンネルの状態を示します。
- PN-AP100が入力ユニットとして動作しているときは消灯しています。
- PN-AP100が入力ユニットとして動作しており、[AUDIO OUT] 端子から音声出力可能なときに点滅します。
(放送モードが“双方向モード”または“マトリックスモード”の場合のみ)

各部の名称とはたらき (つづき)

背面



13 [AUDIO IN 1CH]/[AUDIO IN 2CH] オーディオ 1/2 チャンネル入力端子 (RCA ピン)
オーディオ信号を入力します。

14 [AUDIO OUT 1CH] ~ [AUDIO OUT 4CH]
オーディオ 1 ~ 4 チャンネル出力端子 (RCA ピン)
オーディオ信号を出力します。

15 [UNIT ID] ユニット番号設定スイッチ
(6bit ディップスイッチ)

- ユニットの動作モード識別を設定します。
(入力ユニット・出力ユニット)
- ユニットの ID 番号を設定します。
(※ 10 ページ『ユニット番号を設定する』)

16 [CONTACT IN/OUT] 制御入出力プッシュターミナル (14pin)

- 入力ユニット動作時：
13 入力 (1 番 ~ 13 番)、1 出力 (14 番)
- 出力ユニット動作時：
13 出力 (1 番 ~ 13 番)、1 入力 (14 番)

メモ: _____

- 適合線径は AWG22 ~ 28 です。

17 [SERIAL] シリアルプッシュターミナル (2pin)

- デジタルアンプ (EM-A842D/EM-A822D) と接続しアンプのエラーログを取得します。
- 最大で 4 台のアンプとカスケード接続できます。
(※ 12 ページ『シリアル端子にデジタルアンプを接続する』)

18 [DC5V] 電源端子
付属の AC アダプターを接続し、電源を供給することで PN-AP100 が起動します。

19 [RESET] リセットボタン
PN-AP100 をリセットします。[RESET] ボタンを押すと、PN-AP100 が再起動します。

メモ: _____

- [RESET] ボタンを長押し (5 秒以上) すると、初期設定に戻ります。設定を変更したくない場合は、[RESET] ボタンを 5 秒以上長押ししないでください。
- 初期設定に戻す場合は、下記手順で行います。
 - ① PN-AP100 の電源が ON の状態で、[RESET] ボタンを 5 秒以上長押しする。
(すべてのランプが点滅します。)
 - ② [RESET] ボタンをはなしたあと、約 1 分で [CH1] ランプ ~ [CH4] ランプが点滅する。
 - ③ PN-AP100 の電源を切る。

20 [100BASE-TX] LAN 接続端子
ネットワークケーブルを接続します。

21 [COM OUT] COM 接続端子
RS-232C の D-sub 9pin COM 接続端子でサービス専用です。

22 ラベル
PN-AP100 の MAC アドレスが 16 進数で表記されています。

使用するまでの手順

メモ:

- Step3～Step7はシステムマネージャー機（ユニット番号“0”）で設定します。

Step 1	設置・接続 (☞ 10 ページ) PN-AP100のユニット番号設定をしてから設置し、ACアダプター、LANケーブル、入力/出力オーディオ機器を接続します。
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------

Step 2	IPアドレスの設定 (☞ 16 ページ) IPアドレスを設定して、PN-AP100をネットワークに接続します。
---------------	-------------------------------------------------------------------

Step 3	放送モードの設定 (☞ 20 ページ) メニュー一覧で、放送モードを選択します。放送モードは下記のいずれかのモードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● パススルーモード ● マトリックスモード ● 双方向モード ※パススルーモード： 入力と出力のチャンネル番号を固定して使用するとき ※マトリックスモード： 入力と出力のチャンネル番号を切り換えて使用するとき ※双方向モード： 入力と出力のチャンネル番号を固定し、双方向で使用するとき
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Step 4	入力/出力ユニット数の設定 (☞ 20 ページ) メニュー一覧で、入力/出力ユニット数を設定します。 ※PN-AP100を使用する前に設定する必要があります。
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

Step 5	入力/出力チャンネルの設定 (☞ 22 ページ) メニュー一覧で、入力/出力チャンネルを設定します。 ※パススルーモードとマトリックスモードでは設定のしかたが異なります。
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

Step 6	起動入力/起動出力の設定 (☞ 26 ページ) メニュー一覧で、起動入力/起動出力を設定します。
---------------	------------------------------------------------------------

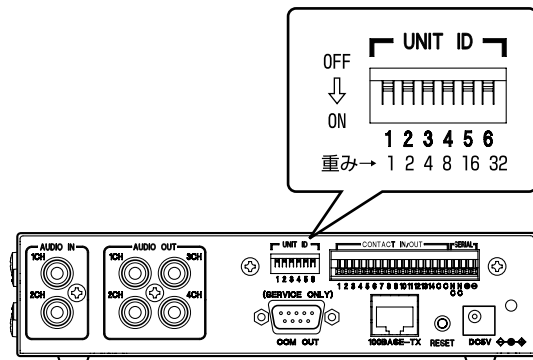
Step 7	音量の設定 (☞ 27 ページ) メニュー一覧で、ユニットごとの音量を設定します。
---------------	-----------------------------------------------------

設定完了

PN-AP100 を設置する

ご注意:

- 同一のネットワークで使用する PN-AP100 は、ファームウェアのバージョンがすべて同一の状態でご構成してください。
ファームアップのバージョンは、PN-AP100 にログインして設定メニュー画面にて確認することができます。
『PN-AP100 にログインする』(P.18 ページ)
『機器情報』(P.44 ページ)
- ファームウェアのバージョンが異なる場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。



ご注意:

- 入力用および出力用のユニット番号は、番号の小さいほうからそれぞれ連番になるように設定してください。連番になっていない場合は、PN-AP100 が正常に動作しません。

メモ:

- ユニット番号は、ON にしたスイッチの重みを合計した数値になります。
- PN-AP100 は、ユニット番号で初期 IP アドレスが決定されます。
- ユニット番号と初期 IP アドレスの関係は、下記『ユニット番号および初期 IP アドレス対応表』をご覧ください。

ユニット番号を設定する

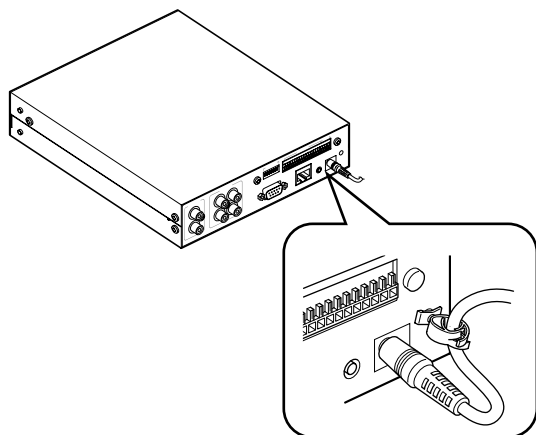
- 背面にある[UNIT ID]設定スイッチでユニット番号を設定します。
- 複数台を設定する場合は、それぞれ異なるユニット番号を設定してください。
- ユニット番号によって、入力用 / 出力用を設定します。
入力用：ユニット番号“0”～“7”
出力用：ユニット番号“32”～“39”
- システム構成上、ユニット番号“0”の PN-AP100 が必要です。
ユニット番号“0”の PN-AP100 がシステムマネージャー機になります。

■ ユニット番号および初期 IP アドレス対応表

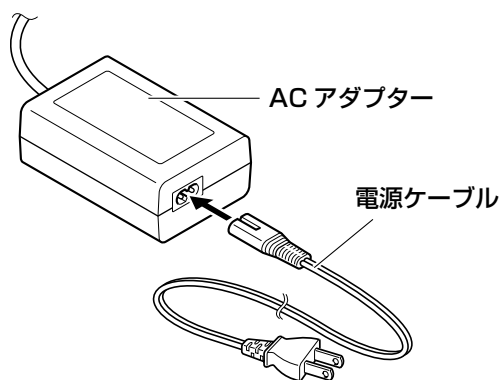
ユニット番号	[UNIT ID] 設定スイッチの設定						初期 IP アドレス
	1	2	3	4	5	6	
0	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	192.168.1.101
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	192.168.1.102
2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	192.168.1.103
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	192.168.1.104
4	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	192.168.1.105
⋮							⋮
7	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	192.168.1.108
32	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	192.168.1.133
⋮							⋮
39	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	192.168.1.140

AC アダプターを接続する

1 PN-AP100 背面の [DC5V] 電源端子に AC アダプターのケーブルを接続する



2 AC アダプターに電源ケーブルを差し込む



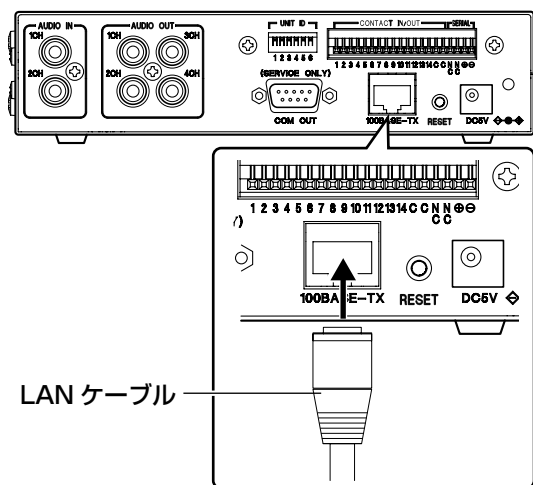
3 コンセントに電源ケーブルを差し込む

メモ:

- PN-AP100 には電源を入れるスイッチがありません。AC アダプターで電源を供給することにより起動します。

LAN ケーブルを接続する

PN-AP100 背面の [100BASE-TX] 接続端子に LAN ケーブルを接続します。



メモ:

- PN-AP100 には LAN ケーブルは付属していません。カテゴリ 5 以上のストレート LAN ケーブルをご使用ください。

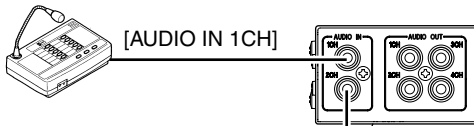
PN-AP100 を設置する (つづき)

オーディオ機器を接続する

■ PN-AP100 に入力する場合

PN-AP100 背面のオーディオ入力端子に、リモートマイクホンやデジタルミュージックマシンを接続します。

リモートマイクホン



デジタルミュージックマシン

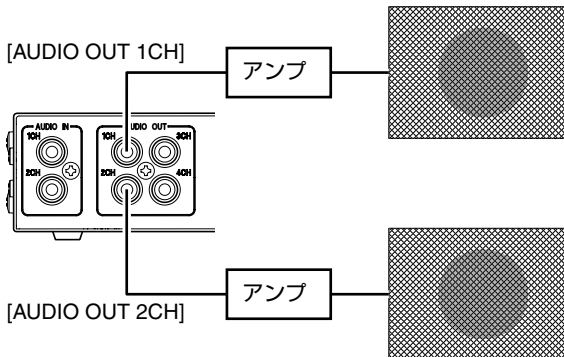


メモ:

- 1つのPN-AP100につき、最大2台のオーディオ機器を [AUDIO IN] 端子に接続できます。
- PN-AP100 を出力ユニットとして使用する場合、パススルーモードでは [AUDIO IN] 端子は使用できません。マトリックスモードでは [AUDIO IN 1 CH] 端子のみ使用できます。
- リモートマイクホンを使用する場合は、別途 DC 電源が必要になる場合があります。

■ PN-AP100 から出力する場合

PN-AP100 背面のオーディオ出力端子に、アンプまたはアンプ内蔵スピーカーを接続します。



メモ:

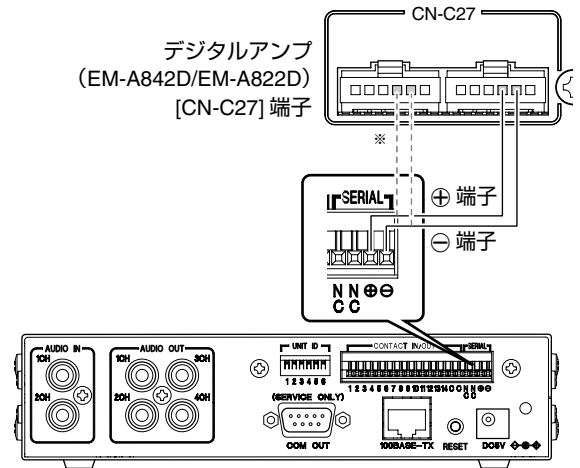
- 1つのPN-AP100につき、最大4台のオーディオ機器を [AUDIO OUT] 端子に接続できます。
- PN-AP100 を入力ユニットとして使用する場合、パススルーモードでは [AUDIO OUT] 端子は使用できません。マトリックスモードでは [AUDIO OUT 1CH] 端子のみ使用できます。双方向モードでは [AUDIO OUT 1CH] と [AUDIO OUT 2CH] が使用できます。

シリアル端子にデジタルアンプを接続する

[SERIAL] 端子にはデジタルアンプ (EM-A842D/EM-A822D) を接続できます。

■ 接続

PN-AP100	EM-A842D/EM-A822D
[SERIAL]⊖ 端子	[CN-C27] 端子の右から2番目
[SERIAL]⊕ 端子	[CN-C27] 端子の右から3番目

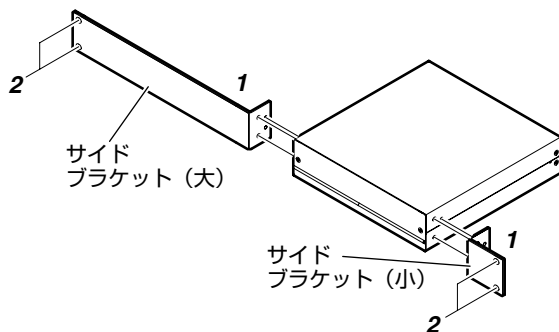


* デジタルアンプ (EM-A842D/EM-A822D) の [CN-C27] 端子は2個あります。接続は左右どちらの端子でも可能です。

EIA 標準ラックに組み込む場合

- PN-AP100 にラックマウント金具 (別売) を取り付けて、EIA 標準ラックに組み込みます。
- 組み込み、およびラックマウント金具の購入については、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

■ 1 台の場合 (ラックマウント金具 VNA1BK10J)



1 サイドブラケットを取り付ける

PN-AP100 の左右に付いているねじを各 1 本はずし、ラックマウント金具に添付の M3 ねじ 1 本と M4 ねじ 2 本でサイドブラケット (大、小) を取り付けます。

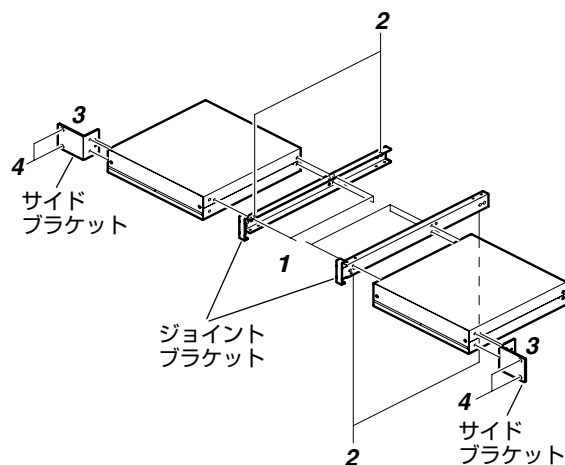
2 ラックに取り付ける

ラックマウント金具に添付の M5 ねじ各 2 本で、PN-AP100 をラックに取り付けます。

メモ:

- 使用するラックによっては、PN-AP100 の底面より足をはさず必要があります。

■ 2 台の場合 (ラックマウント金具 VNA1BK11J)



1 ジョイントブラケットを取り付ける

PN-AP100 の左右に付いているねじを各 3 本はずし、ラックマウント金具に添付の M3 ねじ 3 本でジョイントブラケット (2 個) を取り付けます。

2 ジョイントブラケットを連結する

ジョイントブラケットの上下 4 箇所を、ラックマウント金具に添付の M3 ねじで PN-AP100 を連結します。

3 サイドブラケットを取り付ける

連結した PN-AP100 の左右に付いているねじを各 1 本はずし、ラックマウント金具に添付の M3 ねじ 1 本と M4 ねじ 2 本でサイドブラケット (2 個) を取り付けます。

4 ラックに取り付ける

ラックマウント金具に添付の M5 ねじ各 2 本で、連結した PN-AP100 をラックに取り付けます。

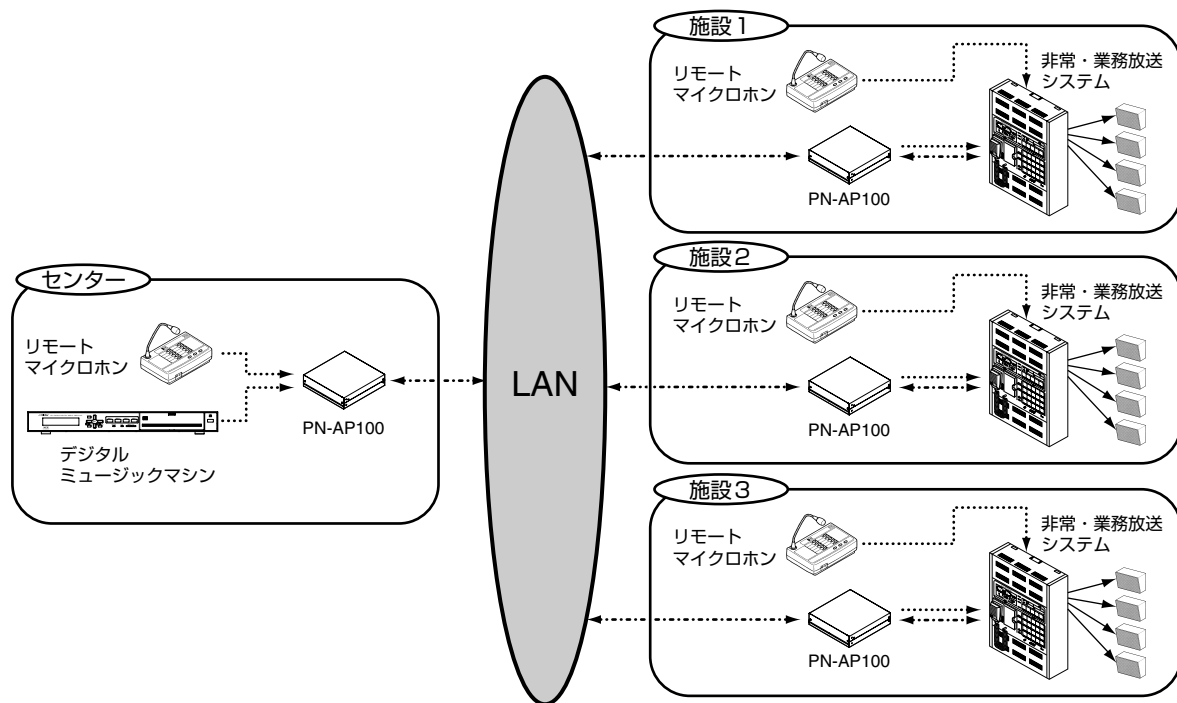
ネットワーク構築について

- PN-AP100 は 100BASE-TX のネットワーク接続で動作します。
- ネットワーク構築のケーブル長については、IEEE802.3u 規格に準じてください。
- ハブの最大段数は 7 段です。

放送システムの構築について

< 構築例 >

PN-AP100 を使用して、下記のような業務放送システムが可能です。



パススルー回線のネットワーク構築

- 入力と出力のチャンネル番号を固定したいときは、パススルー回線でネットワーク構築をします。
- パススルー回線は、音声入力と音声出力をチャンネル番号ごとに設定できます。
- 入力チャンネル番号を設定した PN-AP100 は、設定した出力チャンネル番号へ音声を送信しつづけます。(☞ 35 ページ『パススルー回線の設定』)

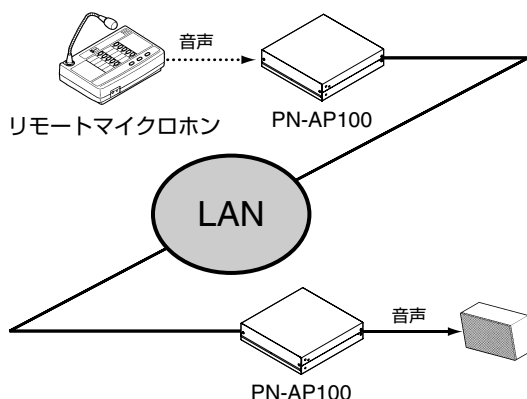
メモ:

- 複数の入出力チャンネル番号を切り換えて使用したいときは、マトリックス回線でネットワーク構築を設定します。(☞ 15 ページ『マトリックス回線のネットワーク構築』)

ご注意:

- パススルー回線では、PN-AP100 を入力チャンネル用に最大 2 台、出力チャンネル用に最大 8 台 (合計 10 台) まで接続できます。
- ネットワーク全体で同時に送受信できるチャンネル数は、最大で 4 個までです。
- 入力側 PN-AP100 のユニット番号は、必ず“0”または“1”に設定してください。
- ネットワーク構築にはスイッチングハブが必要です。ネットワーク機器については、販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

< 構築例 >



パススルー回線は、A地点からB地点へ音声を切り換えせずに送信するときに使用します。

マトリックス回線のネットワーク構築

- 入出力のチャンネル番号を切り換えて使用したいときは、マトリックス回線でネットワーク構築をします。
- マトリックス回線は、起動入力に対して音声入力と音声出力を入力チャンネルごとに設定できます。
- 優先順位は、それぞれ任意の入力チャンネル番号ごとに設定できます。(☞ 36 ページ『マトリックス回線の設定』)

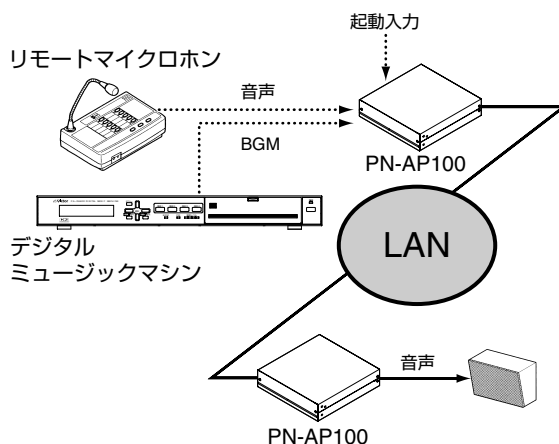
メモ:

- 入出力のチャンネル番号を固定したいときは、パススルー回線でネットワーク構築をします。(☞ 15 ページ『パススルー回線のネットワーク構築』)
- 起動入力为重なった場合は、優先順位の高い入力チャンネル番号で決定されます。優先順位は 16 段階で設定することができます。(☞ 36 ページ『マトリックス回線の設定』)

ご注意:

- マトリックス回線では、PN-AP100 を入力チャンネル用に最大 8 台、出力チャンネル用に最大 8 台 (合計 16 台) まで接続できます。
- ネットワーク全体で同時に送受信できるチャンネル数は、最大で 4 個までです。
- ネットワーク構築にはスイッチングハブが必要です。ネットワーク機器については、販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

< 構築例 >



マトリックス回線は、BGMを再生してる場において、マイクを使用するなどの、音声を切り換えて送信するときに使用します。

ネットワーク構築について (つづき)

双方向回線のネットワーク構築

- 入出力のチャンネル番号を固定し双方向で使用したいときは、双方向回線でネットワーク構築をします。
- 双方向回線は、音声入力と音声出力をチャンネル番号ごとに設定でき、双方向での音声の送信ができます。
- 入力チャンネル番号を設定した PN-AP100 は、設定した出力チャンネル番号へ音声を送信しつづけます。(☞ 38 ページ『双方向回線の設定』)

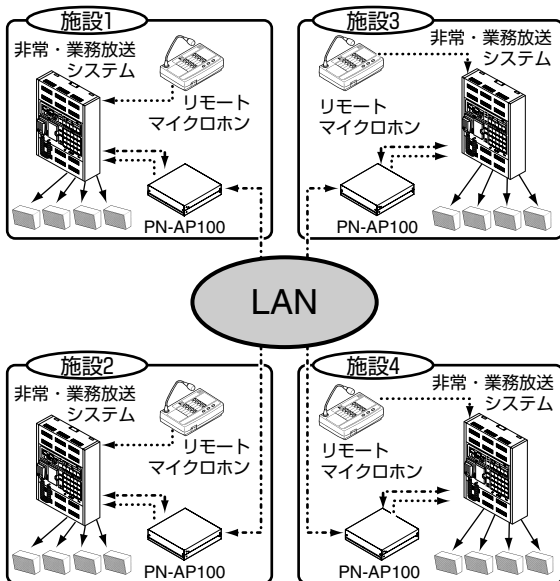
メモ:

- 複数の入出力チャンネル番号を切り換えて使用したいときは、マトリックス回線でネットワーク構築を設定します。(☞ 15 ページ『マトリックス回線のネットワーク構築』)

ご注意:

- 双方向回線では、PN-AP100 を入(出)カチャンネル用に最大 2 台、出(入)カチャンネル用に最大 2 台(合計 4 台)まで接続できます。
- ネットワーク全体で同時に送受信できるチャンネル数は、最大で 4 個までです。
- ネットワーク構築にはスイッチングハブが必要です。また、双方向モードではルーターを経由した接続が可能です。ネットワーク機器については、販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

< 構築例 >



IP アドレスを設定する

- PN-AP100 に固定 IP アドレスを設定します。
- IP アドレスを設定するときには、PN-AP100 にアクセス可能なパソコンが必要となります。パソコンをご用意ください。

設定前の準備

■ パソコン環境について

- パソコンには以下の仕様を推奨しております。

OS	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows Vista (Home Premium または Business)(SP1) ● Windows XP (Professional または Home Edition) (SP2 以降)
Web ブラウザ	Internet Explorer Version 6.0、7.0 および 8.0
その他ソフトウェア	JavaScript が動作すること

ご注意:

- PN-AP100 の IP アドレスを設定するときには、PN-AP100、パソコンおよびスイッチングハブのみで構成されたネットワークで設定をしてください。他のネットワークと接続しているハブに、LAN ケーブルを接続して設定をするとトラブルの原因になります。

■ PN-AP100 とパソコンを接続する

- PN-AP100、パソコンおよびスイッチングハブをネットワーク接続します。
- PN-AP100 背面の LAN 接続端子に、カテゴリ 5 以上のストレート LAN ケーブルで接続してください。(☞ 11 ページ『LAN ケーブルを接続する』)

PN-AP100 は起動後に下記の設定になっています。

IP アドレスの値	192.168.1.101 ※ユニット番号が“0”の場合
サブネットマスク	255.255.255.0

メモ:

- ユニット番号によって初期状態の IP アドレスの値が異なります。(☞ 10 ページ『ユニット番号を設定する』)

パソコンの IP アドレスを変更する

PN-AP100 に接続するために、パソコンの IP アドレスを変更する必要があります。

ご注意:

- パソコンの IP アドレスを変更しなくても、PN-AP100 に接続できる場合があります。そのときは IP アドレスを変更する必要はありません。

1 パソコンの電源を入れて、[スタート]-[コントロールパネル]をクリックし、[ネットワークとインターネットの接続]をダブルクリックする [ネットワーク接続]の画面が表示されます。

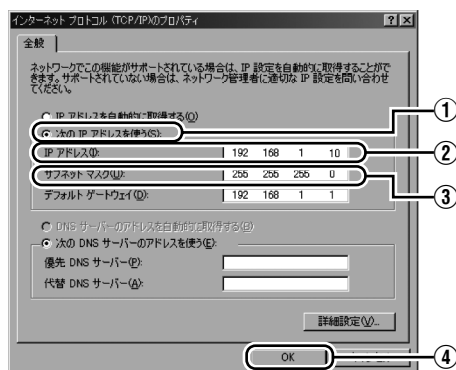
2 [ローカルエリア接続]を右クリックして [プロパティ]をクリックする

メモ:

- ローカルネットワークで、PN-AP100 とパソコンを接続します。
- [ローカルエリア接続]が[ネットワーク接続]にないときは、[新しい接続を作成する]をクリックして [ローカルエリア接続]を作成してください。

3 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選び、[プロパティ]をクリックする

4 IP アドレスを変更する



- ① [次の IP アドレスを使う]を選びます。
- ② [IP アドレス]を設定します。
(例:192.168.1.10)
- ③ [サブネットマスク]を設定作業に適切な値にします。不明な場合はネットワーク管理者に確認してください。
- ④ [OK]をクリックします。

メモ:

- 下記の値で初期設定の PN-AP100 に接続できます。

IP アドレスの値	192.168.1.101 ※ユニット番号が“0”の場合
サブネットマスク	255.255.255.0

- ユニット番号によっては、初期 IP アドレスの値が異なります。
(※ 10 ページ『ユニット番号を設定する』)
- 記載されている値で接続できないときは、PN-AP100 の [RESET] ボタンを、5 秒以上長押しして初期設定に戻してください。

5 [ローカルエリア接続]のプロパティ画面の [OK] をクリックして変更内容を反映する

IP アドレスを設定する (つづき)

PN-AP100 にログインする

PN-AP100 の設定メニュー画面にアクセスします。

メモ:

- PN-AP100 にログインすると、設定メニュー画面で各種設定ができます。
『メニュー一覧』(31 ページ～ 48 ページ)

1 パソコンの InternetExplorer を起動する

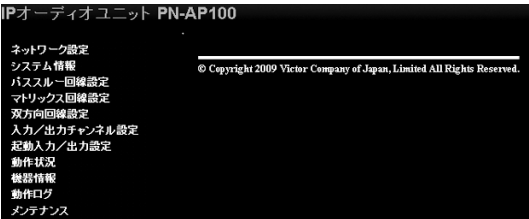
2 InternetExplorer で PN-AP100 にアクセスする

- アドレス欄に“http://192.168.1.101”と入力します。
- PN-AP100 のログイン画面が表示されます。



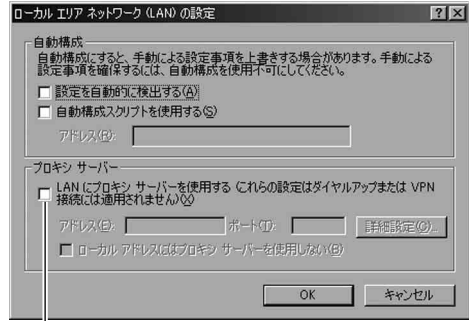
3 PN-AP100 にログインする

- ユーザー名とパスワードを入力します。
(ユーザー名“admin”、パスワード“jvc”)
- 設定メニュー画面が表示されます。



ご注意:

- LAN の設定はプロキシサーバーを使用しているとアクセスできません。
Internet Explorer の [ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LAN の設定] の順に選択し、[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ウィンドウの [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックマークをはずしてください。



チェックマークをはずす

- セキュリティの設定はアクティブスクリプトが有効になっていないとアクセスできません。
Internet Explorer の [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ] の順に選択し、[レベルのカスタマイズ] ウィンドウの [アクティブスクリプト] の項目にて “有効にする” を選択してください。



[有効にする] を選択する

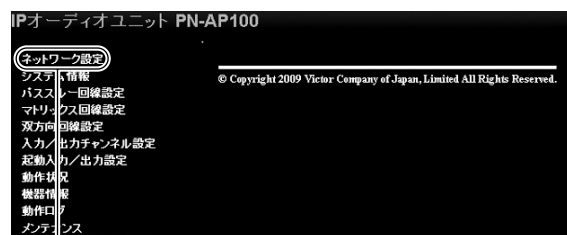
Internet Explorer で PN-AP100 の IP アドレスを変更する

1 ユニット番号“0”に設定したPN-AP100にログインする

(☞ 18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

2 設定メニュー画面で[ネットワーク設定]をクリックする

ネットワーク設定画面が表示されます。



[ネットワーク設定]をクリックする

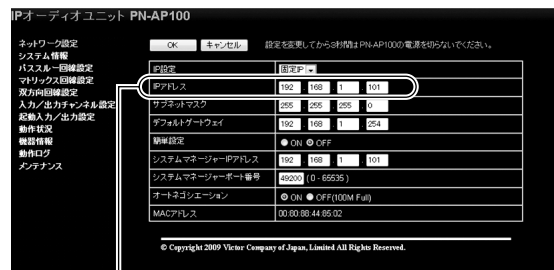
3 [IP 設定] で IP アドレスの設定方法を選択する

- “固定 IP” をえらんだ場合、手順 4 に進みます。
- “DHCP” をえらぶと、自動的に IP アドレスが割り付けられます。“IP アドレス”、“サブネットマスク”、“デフォルトゲートウェイ”の項目は、グレー表示となり、設定できません。

4 任意の IP アドレスに変更する

(“固定 IP” の場合のみ)

PN-AP100 の IP アドレスを任意の値に変更します。



[IP アドレス] を変更する

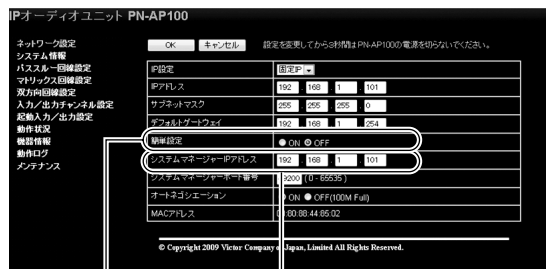
メモ:

- IP アドレスは、他のインターネット機器と重複しない番号で設定してください。
- 2 台目以降の PN-AP100 を設定するときは、1 台目とは異なる IP アドレスを設定してください。

5 [システムマネージャーIPアドレス]を変更する

下記どちらかの方法で設定します。

- [システムマネージャーIPアドレス]の欄に、手順 4 で設定した 1 台目の IP アドレスを入力します。
- “簡単設定” を“ON” にします。
[システムマネージャー IP アドレス]の値を自動で割り付けることができます。



[簡単設定] を“ON” にする

[システムマネージャー IP アドレス] を変更する

メモ:

- ユニット番号“0”のPN-AP100がシステムマネージャー機になります。
- すべてのPN-AP100の[システムマネージャーIPアドレス]は、システムマネージャー機(ユニット番号“0”)の[IPアドレス]と同じものに設定してください。
- ユニット番号“0”のPN-AP100の[簡単設定]を“ON”にした場合、その他のユニットも[簡単設定]を“ON”に設定してください。

6 [OK] をクリックして設定を保存する

ご注意:

- 設定メニュー画面にアクセスするときは、変更した IP アドレスが必要になります。変更した IP アドレスは、忘れないようにメモなどで保管してください。

7 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動]が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動]をクリックするとPN-AP100が再起動します。

放送モードを設定する

PN-AP100はパススルーモード、マトリックスモードまたは双方向モードのいずれかの形式で放送します。使用状況に応じて、放送モードを設定してください。

メモ:

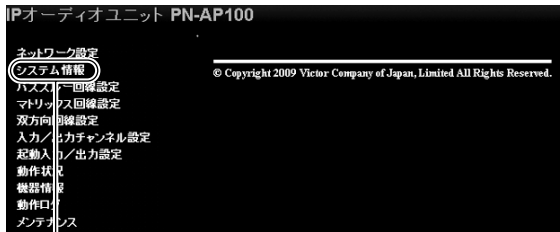
- 各放送モードの詳細は、下記をご覧ください。
『パススルー回線のネットワーク構築』(P.15 ページ)
『マトリックス回線のネットワーク構築』(P.15 ページ)
『双方向回線のネットワーク構築』(P.16 ページ)

1 システムマネージャー機 (ユニット番号 “0”) にログインする

(P.18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

2 設定メニュー画面の[システム情報]をクリックする

システム情報画面が表示されます。



[システム情報] をクリックする

3 [放送モード] を “パススルーモード”、“マトリックスモード”、“双方向モード” のいずれかに設定する



[放送モード] を選択する

4 [OK] をクリックして設定を保存する

5 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

入力 / 出力ユニット数を設定する

PN-AP100 の入力ユニットと出力ユニットの数を設定します。

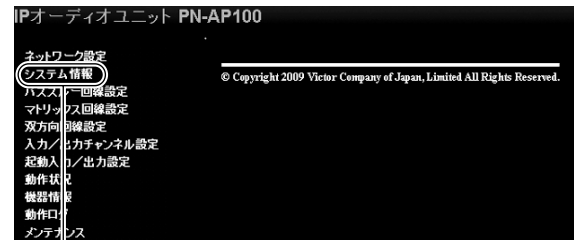
使用する IP オーディオユニットの数に応じた、入力 / 出力ユニット数を設定してください。

1 システムマネージャー機 (ユニット番号 “0”) にログインする

(P.18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

2 設定メニュー画面の[システム情報]をクリックする

システム情報画面が表示されます。



[システム情報] をクリックする

3 [入力ユニット数] および [出力ユニット数] を設定する



[出力ユニット数] を設定する

[入力ユニット数] を設定する

メモ:

- 入力/出力ユニットで設定できる数値の範囲は以下のとおりになります。

	入力ユニット数の 設定範囲	出力ユニット数の 設定範囲
パススルー モードのとき	1～2	1～8
マトリックス モードのとき	1～8	0～8
双方向モードの とき	1～2	1～2

- ユニット番号と各入力/出力チャンネル番号は、下表のように対応しています。

パススルー時

ユニット 番号	入力チャンネル 番号		出力チャンネル番号			
	1CH	2CH	1CH	2CH	3CH	4CH
0	1	2	/	/	/	/
1	3	4				
32	/	/	1	2	3	4
33			5	6	7	8
34			9	10	11	12
35			13	14	15	16
36			17	18	19	20
37			21	22	23	24
38			25	26	27	28
39			29	30	31	32

マトリックス時

ユニット 番号	入力チャンネル 番号		出力チャンネル番号			
	1CH	2CH	1CH	2CH	3CH	4CH
0	1	2	201	/	/	/
1	3	4	202			
2	5	6	203			
3	7	8	204			
4	9	10	205			
5	11	12	206			
6	13	14	207			
7	15	16	208			
32	101	/	1	2	3	4
33	102		5	6	7	8
34	103		9	10	11	12
35	104		13	14	15	16
36	105		17	18	19	20
37	106		21	22	23	24
38	107		25	26	27	28
39	108		29	30	31	32

双方向時

ユニット 番号	入力チャンネル 番号		出力チャンネル番号			
	1CH	2CH	1CH	2CH	3CH	4CH
0	1	2	9	10	/	/
1	3	4	13	14		
32	5	6	1	2	/	/
33	7	8	5	6		

4 [OK] をクリックして設定を保存する

5 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

入力/出力チャンネルを設定する

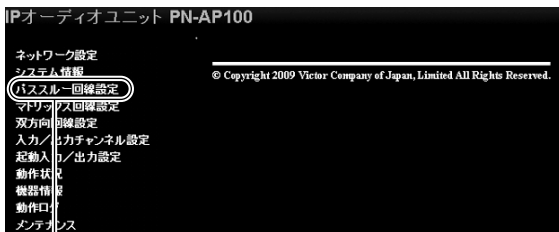
PN-AP100の入力チャンネルと、それに対応する出力チャンネルを設定します。
“パススルーモード”と“マトリックスモード”では、チャンネル設定の手順が異なります。

パススルーモードの場合

1 システムマネージャー機（ユニット番号“0”）にログインする

(☞ 18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

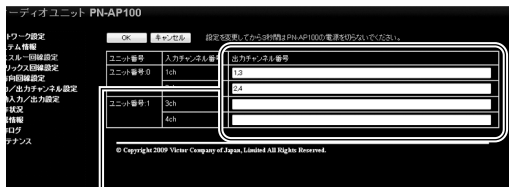
2 設定メニュー画面の[パススルー回線設定]をクリックする



—— [パススルー回線設定] をクリックする

- パススルー回線設定の画面が表示されます。

3 [入力チャンネル番号]ごとに、[出力チャンネル番号]を設定する



[出力チャンネル番号] を設定する

メモ:

- 出力チャンネル番号を複数設定したい場合は、“,”を区切り文字として使用してください。

4 [OK] をクリックして設定を保存する

5 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

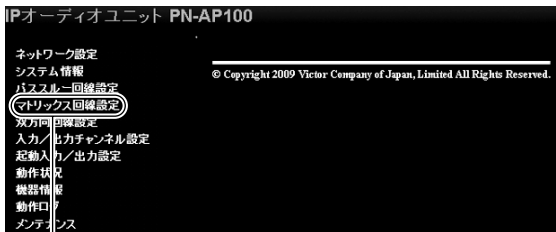
マトリックスモードの場合

1 システムマネージャー機（ユニット番号“0”）にログインする

(☞ 18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

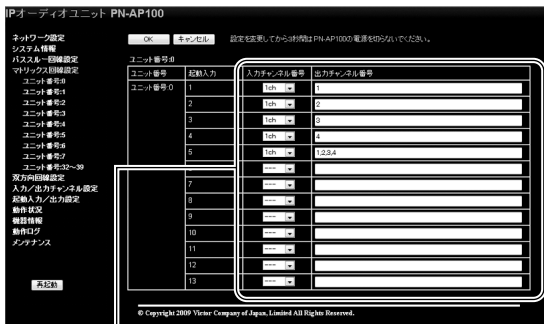
2 設定メニュー画面の[マトリックス回線設定]をクリックする

マトリックス回線設定の画面が表示されます。



[マトリックス回線設定]をクリックする

3 [入力チャンネル番号]および[出力チャンネル番号]を設定する



[入力チャンネル番号]、[出力チャンネル番号]を設定する

例：1ch に入力されている音声を、1ch～3ch へ出力したい場合

[入力チャンネル番号] : 1ch
[出力チャンネル番号] : 1,2,3

- 入力チャンネル番号を“1ch”～“16ch”または“---”に設定します。入力チャンネル番号を無効にしたい場合は“---”に設定します。
- 出力チャンネル番号を複数指定したい場合は、“,”を区切り文字として使用してください。
- 出力チャンネル番号に“*”を指定したときは、すべてのチャンネルが出力番号に設定されます。

メモ: _____

- 設定項目の詳しい説明は『マトリックス回線の設定』(☞36 ページ) をご覧ください。

4 [OK] をクリックして設定を保存する

5 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

メモ: _____

- 複数の起動入力 が連続して発生した場合は、起動入力ごとに音声出力の開始 / 停止を行います。フェードイン / フェードアウト時間を設定している場合は、フェードイン / フェードアウトの時間分、動作に時間がかかることがあります。
- ミキシング動作を開始 / 停止するときには、フェードイン / フェードアウトが行われます。

入力/出力チャンネルを設定する (つづき)

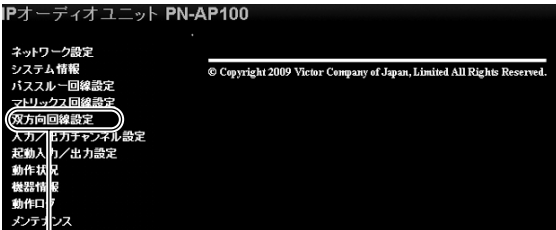
双方向モードの場合

1 システムマネージャー機 (ユニット番号 "0") にログインする

(☞ 18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

2 設定メニュー画面の [双方向回線設定] をクリックする

双方向回線設定の画面が表示されます。



[双方向回線設定] をクリックする

3 [出力チャンネル番号] を設定する



[出力チャンネル番号] を設定する

例：1ch に入力されている音声を、5ch へ出力したい場合

1ch の [出力チャンネル番号] を 5ch に設定

- 入力チャンネル番号を無効にしたい場合は“---”に設定します。

メモ:

- 設定項目の詳しい説明は『双方向回線の設定』(☞38 ページ) をご覧ください。
- 出力チャンネルを重複して設定することはできません。
- 双方向モードでは、以下の出力チャンネルはご使用になれません。
 - 3ch, 4ch, 7ch, 8ch, 11ch, 12ch

4 [OK] をクリックして設定を保存する

5 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

マルチキャストのネットワーク設定をする

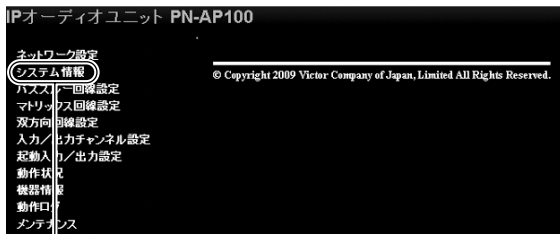
メモ:

- パススルーモードの場合は、手順 5 の [優先順位] を設定する必要がありません。

1 システムマネージャー機 (ユニット番号 "0") にログインする

(☞ 18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

2 設定メニュー画面の[システム情報]をクリックする

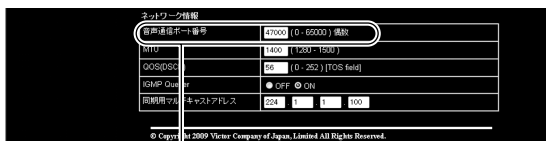


[システム情報] をクリックする

- システム情報画面が表示されます。

3 システム情報画面で[音声通信ポート番号]を指定する

[音声通信ポート番号] は、0 ~ 65000 の範囲の偶数番号で指定します。

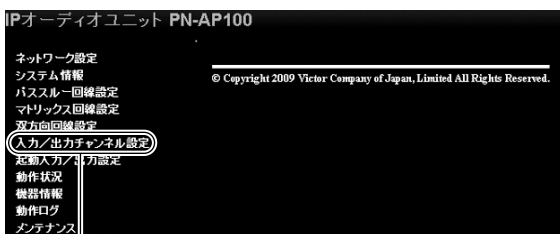


[音声通信ポート番号] を指定する

メモ:

- ポート番号には、Well-Known ポート番号も使用できます。通信の混乱を避けるために、47000 番以降のプライベートポート番号を推奨します。

4 設定メニュー画面の[入力/出力チャンネル設定]をクリックする



[入力/出力チャンネル設定] をクリックする

5 入力チャンネル番号ごとに、異なった [マルチキャストアドレス] を設定する



[マルチキャストアドレス] を重複しないように設定する

6 [優先順位] を設定する (マトリクスモードのみ)



[優先順位] を入力チャンネル番号ごとに設定する

- [優先順位] は、“1” ~ “16” の範囲で設定します。

メモ:

- [優先順位] は、数値の小さい方から優先されます。
- [優先順位] が同じ入力チャンネル番号で重複した場合は、後に放送された入力チャンネル番号が優先されます。

7 [OK] をクリックして設定を保存する

8 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

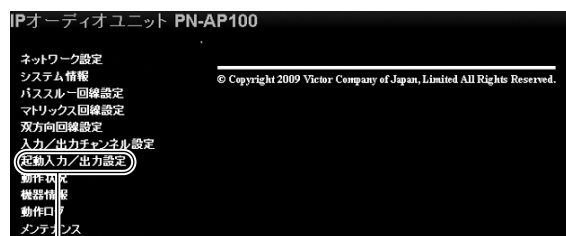
起動入力 / 出力を設定する

PN-AP100 は起動入力と起動出力を関連付けておくことで、制御入力の起動に連動して他の PN-AP100 の制御出力が起動します。

1 システムマネージャー機（ユニット番号“0”）にログインする

(☞ 18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

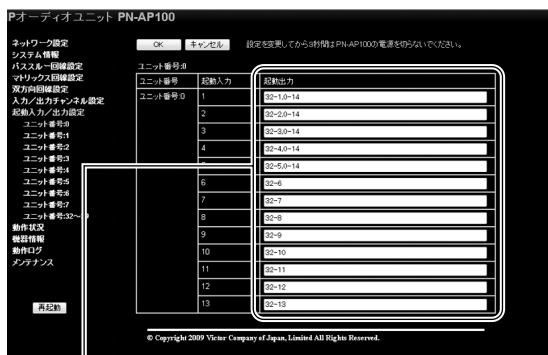
2 設定メニュー画面の [起動入力 / 出力設定] をクリックする



[起動入力 / 出力設定] をクリックする

- 起動入力 / 出力設定の画面が表示されます。

3 [起動出力] を設定する



[起動出力] を設定する

メモ:

- 起動出力を複数指定したいときは、“,” を区切り文字として使用してください。
- “*” を指定したときは、すべてのユニットの起動出力が設定されます。

4 [OK] をクリックして設定を保存する

5 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

音量を設定する

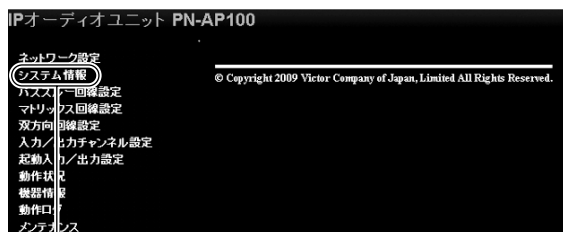
PN-AP100 は、出力チャンネルごとに音量の設定ができます。

設置場所に応じて音量を調整したい場合に、音量の出力レベルを調整します。

1 システムマネージャー機（ユニット番号“0”）にログインする

(☞ 18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

2 設定メニュー画面の[システム情報]をクリックする



[システム情報] をクリックする

- システム情報画面が表示されます。

3 [出力レベル] を設定する

- [出力レベル] は“0”～“10”の範囲で設定します。
- [出力レベル] を“0”にした場合は、消音になります。(☞ 33 ページ『システム情報設定』)



[出力レベル] 個別に設定する

4 [OK] をクリックして設定を保存する

5 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

PN-AP100 を新たに追加する

IP オーディオシステムに、PN-AP100 を追加する場合は、設定を一部変更する必要があります。

メモ: _____

- 設定変更のときに、運用中の IP オーディオシステムを一度停止させる必要があります。

追加する PN-AP100 を設置・設定する

1 PN-AP100 を追加で設置する

(『PN-AP100 を設置する』 10 ページ～ 13 ページ)

2 PN-AP100 の [IP アドレス]、[システムマネージャー IP アドレス] および [システムマネージャーポート番号] を設定する

(『IP アドレスを設定する』 16 ページ～ 19 ページ)

ご注意: _____

- [IP アドレス] は、他のインターネット機器と重複しない番号で設定してください。
- [システムマネージャー IP アドレス] は、すでに運用しているシステムマネージャー機と同じ IP アドレス番号を設定してください。
- [システムマネージャーポート番号] は、すでに運用しているシステムマネージャー機と同じポート番号を設定してください。

3 [OK] をクリックして設定を保存する

4 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

システムマネージャー機の設定を変更する

1 システムマネージャー機 (ユニット番号 “0”) にログインする

(18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

2 システム情報画面で [入力ユニット数] および [出力ユニット数] を変更する

追加した台数に合わせて [入力ユニット数] と [出力ユニット数] の値を変更してください。



[出力ユニット数] を変更する

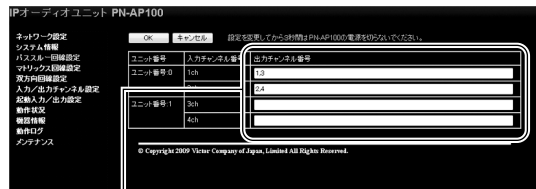
[入力ユニット数] を変更する

3 [OK] をクリックして設定を保存する

4 設定メニュー画面で [パススルー回線設定]、[マトリクス回線設定] もしくは [双方向回線設定] を変更する

新たに追加した台数に合わせて [入力チャンネル番号] および [出力チャンネル番号] の設定を変更してください。

■ パススルーモードの場合



[出力チャンネル番号] を変更する

■ マトリックスモードの場合



[入力チャンネル番号]、[出力チャンネル番号] を変更する

■ 双方向モードの場合

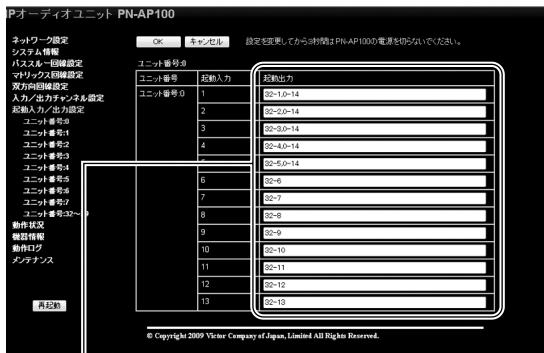


[出力チャンネル番号] を変更する

5 [OK] をクリックして設定を保存する

6 起動入力/出力設定画面で[起動入力/出力設定]を変更する

追加したチャンネルに合わせて、[起動出力] を変更してください。



[起動出力] を変更する

7 [OK] をクリックして設定を保存する

8 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

放送モードを変更する

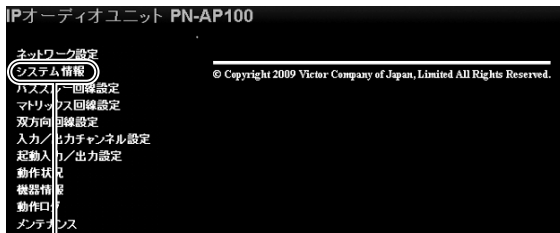
1 PN-AP100 に接続されている入力/出力機器を変更する

必要に応じて入力/出力機器を新規設置と同じ手順で変更してください。
 (☞ 12 ページ『オーディオ機器を接続する』)

2 システムマネージャー機 (ユニット番号 "0") にログインする

(☞ 18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

3 設定メニュー画面の[システム情報]をクリックする

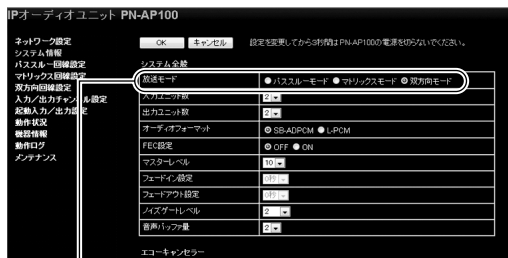


[システム情報] をクリックする

- システム情報画面が表示されます。

4 [放送モード]、[入力ユニット数]および[出力ユニット数]を設定する

(☞ 33 ページ『システム情報設定』)



[放送モード] を変更する



[入力ユニット数]、[出力ユニット数] を設定する

[放送モード] を変更する

メモ:

- 入力/出力ユニットで設定できる数値の範囲は以下のとおりになります。

	入力ユニット数の設定範囲	出力ユニット数の設定範囲
パススルーモードのとき	1 ~ 2	1 ~ 8
マトリックスモードのとき	1 ~ 8	0 ~ 8
双方向モードのとき	1 ~ 2	1 ~ 2

5 [OK] をクリックして設定を保存する

6 [再起動] をクリックする

- 設定を保存すると、[再起動] が設定メニュー画面の左下に表示されます。
- [再起動] をクリックすると PN-AP100 が再起動します。

トップメニュー

PN-AP100 にアクセスすると設定メニュー画面が表示されます。

(☞ 18 ページ『PN-AP100 にログインする』)

画面左側にある設定項目をクリックすると各種設定画面に移動します。

IPオーディオユニット PN-AP100

- ① ネットワーク設定
- ② システム情報
- ③ パススルー回線設定
- ④ マトリックス回線設定
- ⑤ 双方向回線設定
- ⑥ 入力/出力チャンネル設定
- ⑦ 起動入力/出力設定
- ⑧ 動作状況
- ⑨ 機器情報
- ⑩ 動作ログ
- ⑪ メンテナンス

© Copyright 2009 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved

① 『ネットワーク設定』(☞32 ページ)
② 『システム情報設定』(☞33 ページ) *
③ 『パススルー回線の設定』(☞35 ページ) *
④ 『マトリックス回線の設定』(☞36 ページ) *
⑤ 『双方向回線の設定』(☞38 ページ)
⑥ 『入力/出力チャンネルの設定』(☞39 ページ)
⑦ 『起動入力/出力設定』(☞40 ページ) *
⑧ 『動作状況』(☞42 ページ) *
⑨ 『機器情報』(☞44 ページ)
⑩ 『ログ表示』(☞46 ページ)
⑪ 『メンテナンス』(☞48 ページ)

メモ:

- *印がついている項目は、システムマネージャー機(ユニット番号“0”)でのみ選択できます。

ネットワーク設定

ネットワークに関する設定を行います。

[MAC アドレス] は表示のみで、設定値を変更することはできません。

IPオーディオユニット PN-AP100

ネットワーク設定 OK キャンセル 設定を変更してから3秒間はPN-AP100の電源を切らないでください。

システム情報

- ① バススルー回線設定
- ② マトリックス回線設定
- ③ 双方向回線設定
- ④ 入力/出力チャンネル設定
- ⑤ 起動入力/出力設定
- ⑥ 動作状況
- ⑦ 機器情報
- ⑧ 動作ログ
- ⑨ メンテナンス

IP設定	固定IP
IPアドレス	192 . 168 . 1 . 101
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 254
簡単設定	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
システムマネージャーIPアドレス	192 . 168 . 1 . 101
システムマネージャーポート番号	49200 (0 - 65535)
オートネゴシエーション	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF (100M Full)
MACアドレス	00:80:88:44:85:02

名称	設定可能範囲	機能
① IP 設定	固定 IP DHCP	IP アドレスの設定方法を指定します。 “DHCP” に設定した場合、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] は設定できません。
② IP アドレス	0 ~ 255	接続中の PN-AP100 の IP アドレスを設定します。 不適切な IP アドレスは指定できません。
③ サブネットマスク	0 ~ 255	接続中の PN-AP100 のサブネットマスクを設定します。 不適切なサブネットマスクは指定できません。
④ デフォルトゲートウェイ	0 ~ 255	デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。
⑤ 簡単設定	ON OFF	[システムマネージャー IP アドレス] を自動で割り付けるかどうかを設定します。 “ON” の場合、[システムマネージャー IP アドレス] ⑥ は自動で割り付けられ設定できません。
⑥ システムマネージャー IP アドレス	0 ~ 255	システムマネージャー機 (ユニット番号 “0”) の IP アドレスを指定します。 同一のネットワークで使用する PN-AP100 はすべて同じ値で設定してください。
⑦ システムマネージャーポート番号	0 ~ 65535	システムマネージャー機 (ユニット番号 “0”) のポート番号を指定します。 同一のネットワークで使用する PN-AP100 はすべて同じ値で設定してください。
⑧ オートネゴシエーション	ON OFF	オートネゴシエーションの “ON” (使用する) “OFF” (使用しない) を設定します。 “OFF” の場合は 「100M Full Duplex」 の設定になります。
⑨ MAC アドレス	表示のみで設定はできません。	MAC アドレスを表示します。 MAC アドレスは本体底面部にあるラベルでも確認できます。

システム情報設定

システム全般の設定を行います。

システム全般

IPオーディオユニット PN-AP100

ネットワーク設定 OK キャンセル 設定を変更してから3秒間はPN-AP100の電源を切らないでください。

システム情報
 パススルー回線設定
 マトリックス回線設定
システム全般
 双方向回線設定
 入力/出力チャネル設定
 起動モード/出力設定
 動作状況
 機器情報
 動作ログ
 メンテナンス

項目	設定値
放送モード	●パススルーモード ●マトリックスモード ●双方向モード
入力ユニット数	2
出力ユニット数	2
オーディオフォーマット	●SB-ADPCM ●L-PCM
FEC設定	●OFF ●ON
マスターレベル	10
フェードイン設定	0秒
フェードアウト設定	0秒
ノイズゲートレベル	2
音声バッファ量	2

名 称	設定可能範囲	機 能
① 放送モード	パススルーモード マトリックスモード 双方向モード	放送モードを設定します。 『パススルー回線の設定』(P.35 ページ) 『マトリックス回線の設定』(P.36 ページ) 『双方向回線の設定』(P.38 ページ)
② 入力ユニット数	1 ~ 8	入力ユニットに設定する PN-AP100 の接続台数を設定します。 “パススルーモード”、“双方向モード”時は、“1”~“2”の範囲で設定します。
③ 出力ユニット数	0 ~ 8	出力ユニットに設定する PN-AP100 の接続台数を設定します。
④ オーディオフォーマット	SB-ADPCM L-PCM	音声のフォーマット方式を設定します。
⑤ FEC 設定	OFF ON	エラー訂正機能の“ON”(使用する)、“OFF”(使用しない)を設定します。
⑥ マスターレベル	0 ~ 10	音声出力のマスターレベルを設定します。 “10”を指定したときは、音声出力が最大になります。 “0”を指定したときは、音声出力が消音になります。
⑦ フェードイン設定	0 ~ 3 秒 (1 秒ごと)	フェードインする時間の長さを設定します。 “0 秒”を指定したときはフェードインしません。 ※“マトリックスモード”の場合のみ設定できます。
⑧ フェードアウト設定	0 ~ 3 秒 (1 秒ごと)	フェードアウトする時間の長さを設定します。 “0 秒”を指定したときはフェードアウトしません。 ※“マトリックスモード”の場合のみ設定できます。
⑨ ノイズゲートレベル	OFF, 1, 2, 3	ノイズ低減レベルを設定します。(1: 最小、3: 最大)
⑩ 音声バッファ量	1 ~ 4	音声の遅延レベルを設定します。ネットワークの回線の品質が悪い場合に設定してください。(1: 最小、4: 最大) ※“双方向モード”の場合のみ設定できます。

システム情報設定 (つづき)

エコーキャンセラー

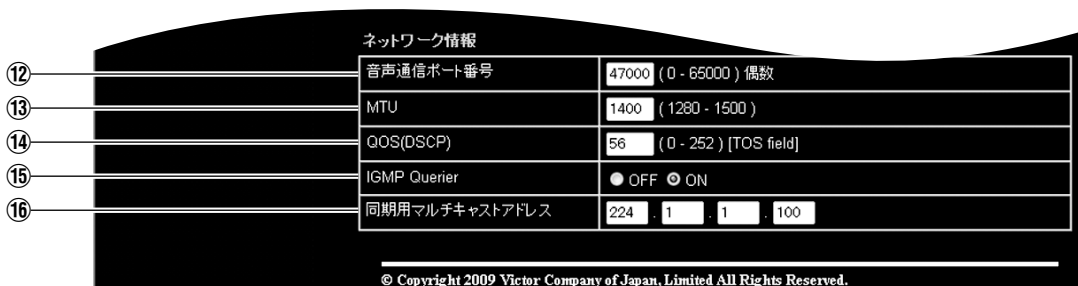
ご注意:

- 本機のエコーキャンセラー機能はハウリング防止が目的です。すべてのエコー現象を十分に取り除くことはできません。
- 双方向同時入力 (ダブルトーク) 時はキャンセル動作しません。
- 入力にマイクを使用しない場合、必ず”OFF”に設定してください。



名 称	設定値	機 能
⑪ キャンセルレベル	OFF 弱 標準 強	エコーキャンセリングの対象となる出力チャンネルのエコーを低減するレベルを設定します。 ※“双方向モード”の場合のみ設定できます。 ※“強”に設定し、ノイズ (ピーという音など) が出る場合は、“標準”か“弱”に設定してください。

ネットワーク情報



名 称	設定可能範囲	機 能
⑫ 音声通信ポート番号	0 ~ 65000 の偶数	音声通信に使用するポート番号を設定します。
⑬ MTU	1280 ~ 1500	パケットの最大サイズを設定します。
⑭ QOS(DSCP)	0 ~ 252	DSCP の値を設定します。
⑮ IGMP Querier	ON OFF	IGMP Querier 機能の“ON”(使用する)、“OFF”(使用しない)を設定します。
⑯ 同期用マルチキャストアドレス	0 ~ 255 (項目ごと)	ユニット間の同期に使用するマルチキャストアドレスを設定します。

パススルー回線の設定

パススルー回線設定を行います。

各入力チャンネルごとの [出力チャンネル番号] の項目を設定します。

メモ:

- 放送モードがパススルーモード場合は、入力チャンネルの番号は 4ch までです。

ご注意:

- 放送モードがマトリックスモードの場合は、パススルー回線の設定が選択できません。

IPオーディオユニット PN-AP100

ネットワーク設定
システム情報
パススルー回線設定
マトリックス回線設定
双方向回線設定
入力/出力チャンネル設定
起動入力/出力設定
動作状況
機器情報
動作ログ
メンテナンス

OK キャンセル 設定を変更してから8秒間はPN-AP100の電源を切らないでください。

ユニット番号	入力チャンネル番号	出力チャンネル番号
ユニット番号:0	1ch	1,3
	2ch	2,4
ユニット番号:1	3ch	
	4ch	

①

© Copyright 2009 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved.

名称	設定可能範囲	機能
① 出力チャンネル番号	1 ~ 32	入力チャンネル番号ごとに、出力チャンネル番号を設定します。複数のチャンネルを設定したい場合は、“,”を区切り文字として指定してください。

マトリックス回線の設定

マトリックス回線設定を行います。
各ユニットの起動入力ごとに [入力チャンネル番号] および [出力チャンネル番号] を設定します。

ご注意:

- [放送モード] が “ パススルーモード ”、“ 双方向モード ” の場合は選択できません。

< ユニット番号 : 0 ~ 7 >



名 称	設定可能範囲	機 能
① 入力チャンネル番号	---、 1ch ~ 16ch、 101ch ~ 108ch	起動入力に対応した、入力チャンネルを設定します。 入力チャンネルを無効にしたい場合は “ --- ” に設定します。
② 出力チャンネル番号	1 ~ 32、 201 ~ 208、 *	起動入力に対応した、出力チャンネルを設定します。 複数のチャンネルを設定したい場合は、“,” を区切り文字として指定してください。 “*” を指定した場合は、全チャンネルが出力チャンネル番号に設定されます。

<ユニット番号：32～39>

IPオーディオユニット PN-AP100

ネットワーク設定 設定を変更してから3秒間はPN-AP100の電源を切らないでください。

システム情報

バスルー回線設定 ユニット番号:32～39

マトリクス回線設定

ユニット番号	起動入力	入力チャンネル番号	出力チャンネル番号
ユニット番号:0			
ユニット番号:1			
ユニット番号:2			
ユニット番号:3			
ユニット番号:4			
ユニット番号:5			
ユニット番号:6			
ユニット番号:7			
ユニット番号:32～39			
ユニット番号:32	14	101ch	1
ユニット番号:33	14	102ch	2
ユニット番号:34	14	103ch	3
ユニット番号:35	14	104ch	4
ユニット番号:36	14	---	
ユニット番号:37	14	---	
ユニット番号:38	14	---	
ユニット番号:39	14	---	

①

双方向回線設定
 入力/出力チャンネル設定
 起動入力/出力設定
 動作状況
 機器情報
 動作ログ
 メンテナンス

© Copyright 2009 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved.

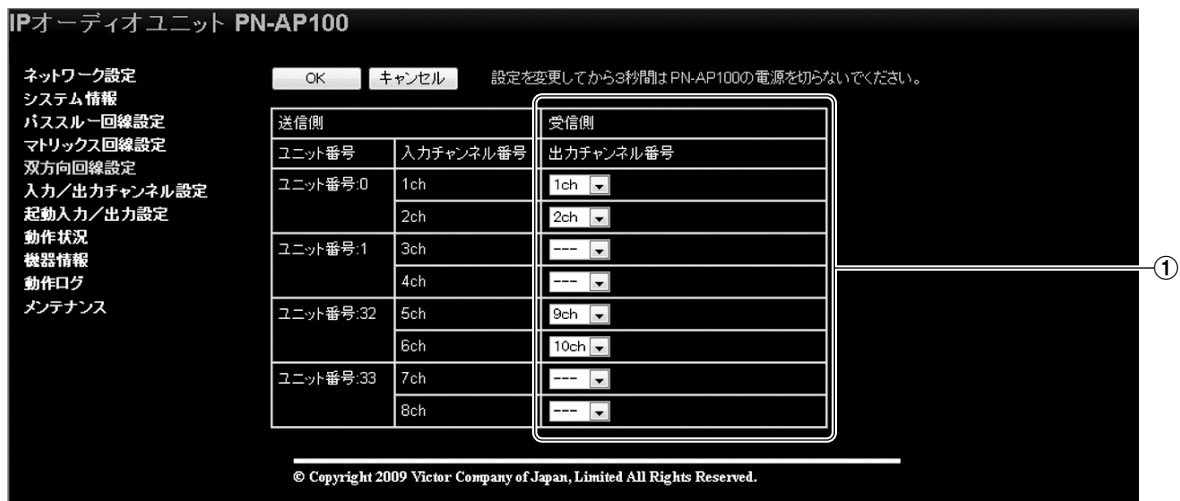
名 称	設定可能範囲	機 能
① 出力チャンネル番号	1～32、 201～208、*	起動入力に対応した、出力チャンネルを設定します。 複数のチャンネルを設定したい場合は、“,”を区切り文字として指定してください。 “*”を指定した場合は、全チャンネルが出力チャンネル番号に設定されます。

双方向回線の設定

双方向モード時の回線設定を行います。
 [入力チャンネル番号]ごとに[出力チャンネル番号]を設定します。

ご注意:

- [放送モード]が“パススルーモード”、“マトリックスモード”の場合は選択できません。



名 称	設定可能範囲	機 能
① 出力チャンネル番号	—	[入力チャンネル番号]ごとに[出力チャンネル番号]を設定します。
入力チャンネル番号 1ch/2ch	1ch, 2ch, 5ch, 6ch, 13 ch, 14ch, ---	
入力チャンネル番号 3ch/4ch	1ch, 2ch, 5ch, 6ch, 9ch, 10ch, ---	
入力チャンネル番号 5ch/6ch	5ch, 6ch, 9ch, 10ch, 13 ch, 14ch, ---	
入力チャンネル番号 7ch/8ch	1ch, 2ch, 9ch, 10ch, 13 ch, 14ch, ---	

入力 / 出力チャンネルの 設定

入力 / 出力チャンネルの設定を行います。

IPオーディオユニット PN-AP100

OK キャンセル 設定を変更してから3秒間はPN-AP100の電源を切らないでください。

ネットワーク設定
システム情報
バスルー回線設定
マトリクス回線設定
双方向回線設定
入力 / 出力チャンネル設定
起動入力 / 出力設定
動作状況
機器情報
動作ログ
メンテナンス

設定が変更されています
設定を反映するには
再起動が必要です
再起動

入力チャンネル設定

入力チャンネル番号	マルチキャストアドレス	優先順位	入力ミキシングレベル
1ch	224 1 1 101	1	7
2ch	224 1 1 102	3	1
3ch	224 1 1 103	1	3
4ch	224 1 1 104	4	4
101ch	224 1 1 201	10	4
102ch	224 1 1 202	5	0

出力チャンネル設定

出力チャンネル番号	出力レベル
1ch	10
2ch	2
3ch	10
4ch	10
5ch	5
6ch	10
7ch	10
8ch	10
201ch	10
202ch	2

① ② ③ ④

名 称	設定可能範囲	機 能
① マルチキャストアドレス	0 ~ 255 (項目ごと)	入力チャンネル番号ごとのマルチキャストアドレスを設定します。
② 優先順位	1 ~ 16	複数の音源が同時に起動した場合に、放送する音源の優先順を設定します。 ※放送モードが“マトリクスモード”の場合にのみ設定できます。 (☞ 30 ページ)
③ 入力ミキシングレベル	0 ~ 10	入力チャンネルごとのミキシングレベル(相対値)を設定します。 “10”を指定したときは、ミキシングレベルが最大になります。 “0”を指定したときは、ミキシングしません。 ※放送モードが“マトリクスモード”の場合にのみ設定できます。 (☞ 30 ページ)
④ 出力レベル	0 ~ 10	出力チャンネルごとの出力レベルを設定します。 “10”を指定したときは、音声出力が最大になります。 “0”を指定したときは、音声出力が消音になります。

起動入力 / 出力設定

[起動入力]と[起動出力]の関連付け設定を行います。

<ユニット番号：0～7>

IPオーディオユニット PN-AP100

ネットワーク設定 OK キャンセル 設定を変更してから3秒間はPN-AP100の電源を切らないでください。

システム情報

バスループ回路設定

マトリックス回路設定

双方向回路設定

入力/出力チャンネル設定

起動入力/出力設定

ユニット番号:0

ユニット番号:1

ユニット番号:2

ユニット番号:3

ユニット番号:4

ユニット番号:5

ユニット番号:6

ユニット番号:7

ユニット番号:32~39

動作状況

機器情報

動作ログ

メンテナンス

再起動

ユニット番号	起動入力	起動出力
ユニット番号:0	1	32-1,0-14
	2	32-2,0-14
	3	32-3,0-14
	4	32-4,0-14
	5	32-5,0-14
	6	32-6
	7	32-7
	8	32-8
	9	32-9
	10	32-10
	11	32-11
	12	32-12
	13	32-13

①

© Copyright 2009 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved.

名 称	設定可能範囲	機 能
① 起動出力	0-14、1-14、2-14、3-14、 4-14、5-14、6-14、7-14、 32-1～32-13、33-1～33-13、 34-1～34-13、35-1～35-13、 36-1～36-13、37-1～37-13、 38-1～38-13、39-1～39-13	起動入力に対応する起動出力番号を設定します。 “XX-YY”の左側“XX”でユニット番号を指定し、右側“YY”で起動出力番号を設定します。 複数の起動出力番号を設定したい場合は、“;”を区切り文字として指定してください。 起動出力番号を“*”と指定した場合は、すべての起動出力番号が設定されます。

<ユニット番号：32～39>

IPオーディオユニット PN-AP100

ネットワーク設定 設定を変更してから8秒間はPN-AP100の電源を切らないでください。

システム情報

バスルー回線設定 ユニット番号:32~39

マトリクス回線設定

双方向回線設定

入力/出力チャンネル設定

起動入力/出力設定

ユニット番号	起動入力	起動出力
ユニット番号:32	14	0-14
ユニット番号:33	14	1-14
ユニット番号:34	14	2-14
ユニット番号:35	14	3-14
ユニット番号:36	14	
ユニット番号:37	14	
ユニット番号:38	14	
ユニット番号:39	14	

①

動作状況

機器情報

動作ログ

メンテナンス

© Copyright 2009 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved.

名 称	設定可能範囲	機 能
① 起動出力	0-14、1-14、2-14、3-14、 4-14、5-14、6-14、7-14、 32-1～32-13、33-1～33-13、 34-1～34-13、35-1～35-13、 36-1～36-13、37-1～37-13、 38-1～38-13、39-1～39-13	起動入力に対応する起動出力番号を設定します。 “XX-YY”の左側“XX”でユニット番号を指定し、右側“YY”で起動出力番号を設定します。 複数の起動出力番号を設定したい場合は、“;”を区切り文字として指定してください。 起動出力番号を“*”と指定した場合は、すべての起動出力番号が設定されます。

動作状況

PN-AP100 の動作状況が表示されます。[表示更新] ボタンをクリックすると、現在の動作状況の表示が更新されます。

ご注意:

- 設定できる項目はありません。

IPオーディオユニット PN-AP100

ネットワーク設定

システム情報

バスルー回線設定

マトリックス回線設定

双方向回線設定

入力/出力チャンネル設定

起動入力/出力設定

動作状況

機器情報

動作ログ

メンテナンス

表示更新

マトリックス情報

出力チャンネル番号	入力チャンネル番号	
	Main	Mix
1ch	---	---
2ch	---	---
3ch	---	---
4ch	---	---
5ch	---	---
6ch	---	---
7ch	---	---
8ch	---	---
9ch	---	---
---	---	---

①

208ch														
起動入力情報														
ユニット番号	起動入力番号													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
ユニット番号:0	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:4	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
...
ユニット番号:39

起動出力情報														
ユニット番号	起動出力番号													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
ユニット番号:0	OFF
ユニット番号:1	OFF
ユニット番号:2	OFF
ユニット番号:3	OFF
ユニット番号:4	OFF
ユニット番号:5	OFF
ユニット番号:6	OFF
ユニット番号:7	OFF
ユニット番号:32	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:33	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:34	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:35	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:36	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:37	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:38	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...
ユニット番号:39	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...

異常デジタルアンプ情報	
ユニット番号	詳細内容
...	...

© Copyright 2009 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved.

名 称	内 容
① マトリックス情報	各出力 / 入力チャンネル番号が表示されます。
② 起動入力情報	起動入力の設定されているかを、“ON” または “OFF” で表示されます。
③ 起動出力情報	起動出力の設定されているかを、“ON” または “OFF” で表示されます。
④ 異常デジタルアンプ情報	デジタルパワーアンプの最新情報のログが表示されます。(P. 47 ページ)

メモ:

- 使用できない項目は “...” で表示されます。
- ②[起動入力情報]/③[起動出力情報] の項目は、起動入力 / 起動出力がそれぞれ設定されている場合、赤字で “ON” と表示されます。

機器情報

PN-AP100 の設定情報一覧やバージョン情報が表示されます。

ご注意:

- 設定できる項目はありません。

IPオーディオユニット PN-AP100

ネットワーク設定

システム情報

バスルー回線設定

マトリクス回線設定

双方向回線設定

入力/出力チャンネル設定

起動入力/出力設定

動作状況

機器情報

動作ログ

メンテナンス

バージョン ①

ファームウェア	1.50
---------	------

時刻情報 ②

時刻	2009年12月17日18時59分29秒
----	----------------------

ネットワーク設定 ③

IP設定	固定IP
IPアドレス	192.168.1.101
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254
簡単設定	OFF
システムマネージャIPアドレス	192.168.1.101
システムマネージャポート番号	49200
オートネゴシエーション	ON
MACアドレス	00:80:88:44:85:02

システム全般 ④

放送モード	マトリクスモード
入力ユニット数	4
出力ユニット数	4
オーディオフォーマット	SB-ADPCM
FEC設定	OFF
マスターレベル	10
フェードイン設定	0秒
フェードアウト設定	0秒
ノイズゲートレベル	2
リミッター	1

エコーキャンセラー ⑤

ユニット番号	対象チャンネル番号 (入力ch <-> 出力ch)	キャンセルレベル
ユニット番号:0	1ch <-> 9ch	強
ユニット番号:1	3ch <-> 13ch	OFF
ユニット番号:32	5ch <-> 1ch	弱
ユニット番号:33	7ch <-> 5ch	標準

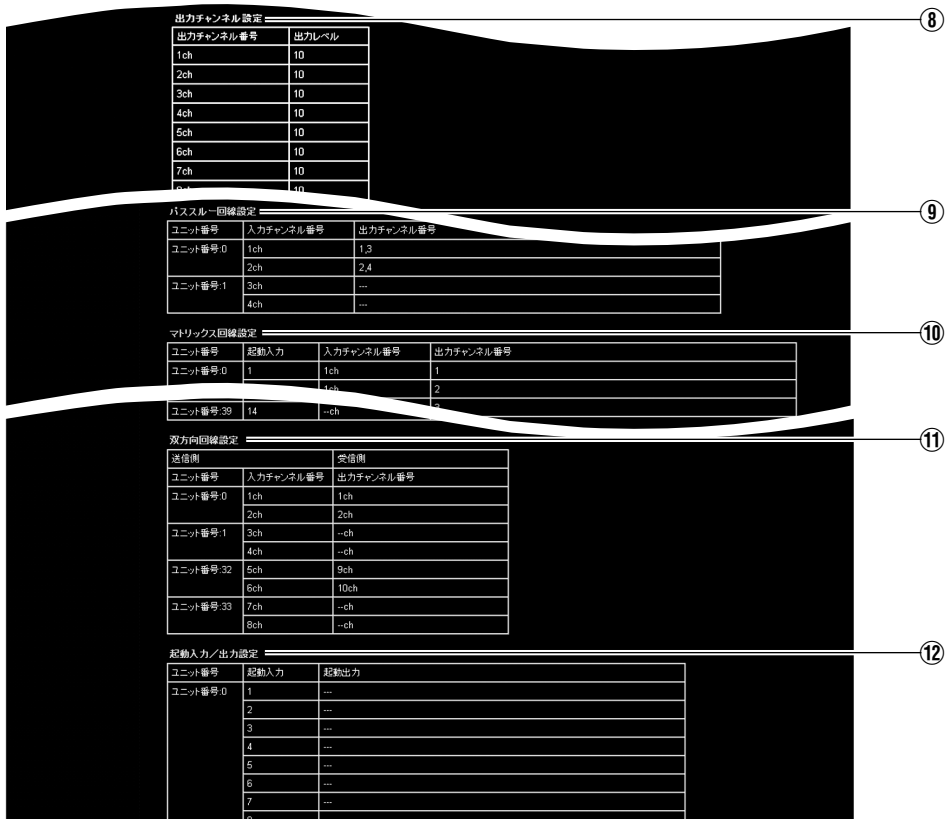
ネットワーク情報 ⑥

音声通信ポート番号	47000
MTU	1400
QOS(DSCP)	56
IGMP Querier	OFF
同期用マルチキャストアドレス	224.1.1.100

入力チャンネル設定 ⑦

入力チャンネル番号	マルチキャストアドレス	優先順位	入力ミキシングレベル
1ch	224.1.1.101	1	0

設定が変更されています
設定を反映するには
再起動が必要です
再起動



名称	内容
① バージョン	ファームウェアのバージョンが表示されます。
② 時刻情報	[メンテナンス]で設定した時刻が表示されます。(P. 48 ページ)
③ ネットワーク設定	[ネットワーク設定]で設定した項目が表示されます。(P. 32 ページ)
④ システム全般	[システム情報]の[システム全般]で設定した項目が表示されます。(P. 33 ページ)
⑤ エコーキャンセラー	エコーキャンセラーの設定が表示されます。(P. 34 ページ)
⑥ ネットワーク情報	[システム情報]の[ネットワーク情報]で設定した項目が表示されます。(P. 34 ページ)
⑦ 入力チャンネル設定	[入力/出力チャンネル設定]の[入力チャンネル番号]で設定した項目が表示されます。(P. 39 ページ)
⑧ 出力チャンネル設定	[入力/出力チャンネル設定]の[出力チャンネル設定]で設定した項目が表示されます。(P. 39 ページ)
⑨ パススルー回線設定	[パススルー回線設定]で設定した項目が表示されます。(P. 35 ページ)
⑩ マトリックス回線設定	[マトリックス回線設定]で設定した項目が表示されます。(P. 36 ページ)
⑪ 双方向回線設定	[双方向回線設定]で設定した項目が表示されます。(P. 38 ページ)
⑫ 起動入力/出力設定	[起動入力/出力設定]で設定した項目が表示されます。(P. 40 ページ)

ログ表示

PN-AP100 の動作ログ / エラーログが表示されます。
 [表示更新] ボタンをクリックすると、現在までのログ情報が画面に表示されます。

動作ログ

メモ:

- [次へ] または [前へ] ボタンをクリックすると、画面に表示されるログ情報が切り換わります。
- システムマネージャー機 (ユニット番号 "0") では、システム全体で発生したログを表示します。

IPオーディオユニット PN-AP100

ネットワーク設定

システム情報

パススルー回線設定

マトリックス回線設定

双方向回線設定

入力/出力チャンネル設定

起動入力/出力設定

動作状況

機器情報

動作ログ

動作ログ

エラーログ

時刻	コード番号	詳細内容	ユニット番号
2009/01/01 01:31:13	13	0010002	32
2009/01/01 01:31:13	11	00001	0
2009/01/01 01:31:13	13	0010003	32
2009/01/01 01:31:13	13	0010004	32
2009/01/01 01:31:13	13	0020001	32
2009/01/01 01:31:14	13	0020002	32

コード番号	詳細内容 (5桁の数字表記)	ログの内容
1	-----	電源を入れて、PN-AP100 のプログラムが起動したときにログが記録されます。
2	-----	PN-AP100 が動作を開始し、システムマネージャー機から開始通知を受信したときにログが記録されます。
3	-----	PN-AP100 が動作を停止し、システムマネージャー機と通信が切れたときにログが記録されます。
7	-----	システムマネージャー機が運用を開始したとき、ログが記録されます。
11	下 2 桁：入力チャンネル番号 (01 ~ 16)	音声の送信を開始したときに、ログが記録されます。
12	下 2 桁：入力チャンネル番号 (01 ~ 16)	音声の送信を停止したときに、ログが記録されます。
13	上 3 桁：入力チャンネル番号 (001 ~ 108) 中 3 桁：入力ミキシングチャンネル (000 ~ 108) 下 1 桁：出力チャンネル (1 ~ 4)	音声の受信を開始したときに、ログが記録されます。 ※ 中 3 桁が "000" の場合、ミキシングしているチャンネルはありません。
14	下 1 桁：出力チャンネル (1 ~ 4)	音声の受信を停止したときに、ログが記録されます。
15	上 3 桁：制御入力番号 (001 ~ 014) 下 2 桁：動作状態 (ON : 01, OFF : 02)	制御入力を動作したときに、ログが記録されます。
16	上 3 桁：制御出力番号 (001 ~ 014) 下 2 桁：動作状態 (ON : 01, OFF : 02)	制御出力を動作したときに、ログが記録されます。
17	上 2 桁：ユニット番号 (00 ~ 39) 中 2 桁：制御入力番号 (01 ~ 14) 下 1 桁：動作状態 (ON : 1, OFF : 0)	API から制御入力を受信したときに、ログが記録されます。

エラーログ

IPオーディオユニット PN-AP100

ネットワーク設定 表示更新

システム情報

バススルー回線設定 前へ 次へ

マトリクス回線設定

双方向回線設定

入力/出力チャンネル設定

起動入力/出力設定

動作状況

機器情報

動作ログ

動作ログ

エラーログ 前へ 次へ

時刻	レベル	コード番号	詳細内容	ユニット番号
2009:12:09:19:37:25	3	11	00032	0
2009:12:09:19:41:14	3	11	00032	0
2009:12:14:13:41:17	3	11	00032	0
2009:12:15:09:47:11	3	11	00032	0

レベル	コード番号	詳細内容 (5桁の数字表記)	ログの内容	対処方法
4	2	-----	設定データの異常を検知したときに、ログが記録されます。	設定データを確認してください。 『メニュー一覧』 (☎ 31～48ページ)
4	3	-----	ユニット番号の重複を検知したときに、ログが記録されます。	ユニット番号を設定しなおしてください。 『ユニット番号を設定する』 (☎ 10ページ)
4	4	-----	IPアドレスの重複を検知したときに、ログが記録されます。	IPアドレスを設定しなおしてください。 『IPアドレスを設定する』 (☎ 16～19ページ)
3	10	-----	システムマネージャー機との通信エラーを検知したときに、ログが記録されます。	LAN ケーブルなどの接続を確認してください。
3	11	下2桁：通信エラーを検出したユニット番号	PN-AP100 との通信エラーを検知したときに、ログが記録されます。	LAN ケーブルなどの接続を確認してください。
3	12	-----	RTC(Real Time Clock) の異常を検知したときに、ログが記録されます。	RTC(Real Time Clock) を初期化してください。 『メンテナンス』(☎48ページ)
3	13	上1桁：アンプID (1～4) 中1桁：チャンネル番号 (1～4) 下2桁：エラーコード (01～10)	デジタルアンプのエラーログが記録されます。 『デジタルアンプのエラーコード一覧』(☎47ページ)	ご使用のデジタルアンプの[取扱説明書]をご覧くださいか、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

■ デジタルアンプのエラーコード一覧

01	：アンプ出力の短絡	06	：電源2の電圧が低く19.2V以下場合(842dのみ)
02	：レベル差を検出、無信号でレベル差を検出	07	：OUTPUT ICの電源異常、過電流
03	：一定の高域周波数が入力された場合	08	：FPGAが動作していない場合
04	：入力信号がクリップしている	10	：OUTPUT ICの温度異常(155℃)
05	：電源1の電圧が低く19.2V以下の場合		

ご注意:

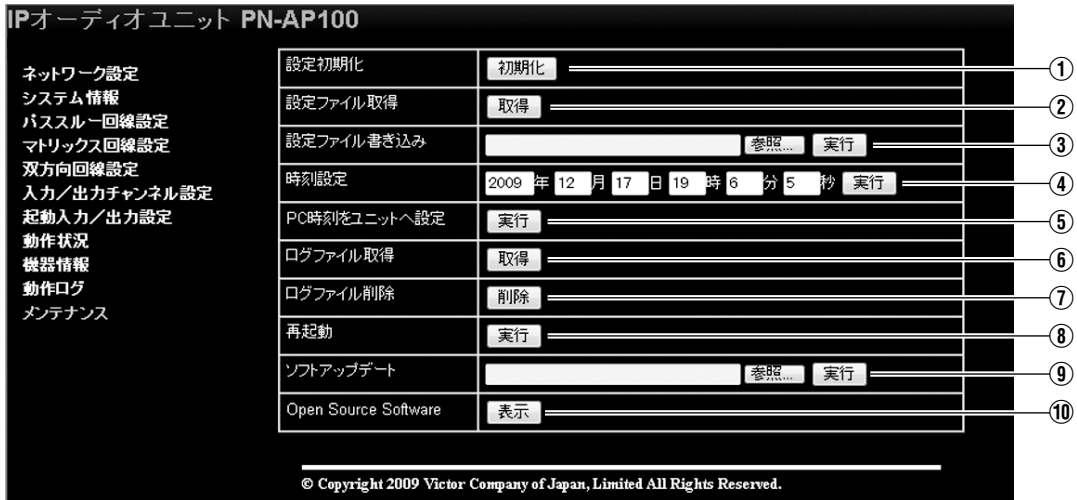
- レベル“3”のエラーログは、運用上で深刻なエラーとして扱います。頻繁に発生する場合は対処方法を確認の上、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。
- レベル“4”のエラーログは、運用停止に関わるエラーです。対処方法を確認の上、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

メンテナンス

PN-AP100 のメンテナンスを実行できます。

メモ:

- 初期設定に戻す場合は、この画面で [設定初期化] を実行します。



名称	設定可能範囲	機能
① 設定初期化	—	初期設定に戻します。
② 設定ファイル取得	—	PN-AP100 の設定ファイルをパソコンで取得します。
③ 設定ファイル書き込み	設定ファイルの読み込み先パスを指定	パソコン上の設定ファイルを PN-AP100 に書き込みます。
④ 時刻設定	—	PN-AP100 の時刻を手動で設定します。
⑤ PC 時刻をユニットへ設定	—	PN-AP100 の時刻をアクセス中のパソコンと同じに設定にします。
⑥ ログファイル取得	—	PN-AP100 のログファイルをパソコンで取得します。
⑦ ログファイル削除	—	PN-AP100 のログファイルをすべて削除します。
⑧ 再起動	—	PN-AP100 を再起動します。
⑨ ソフトアップデート	ファームウェアの読み込み先パスを指定	取得したファームウェアのアップデートを行います。 *アップデート中は PN-AP100 の電源を切らないでください。 また、ブラウザの操作をしないでください。
⑩ Open Source Software	—	オープンソース関連の表示画面に移行します。

こんなときは

症状	原因	処置	参照ページ
電源を入れたが、 [STS] ランプが点灯せず点滅する	エラーが発生している。	『PN-AP100 ランプによる状態表示』を確認してください。	☞ 49 ページ
音声が出力されない	PN-AP100 に音声入力機器が接続されていない。	PN-AP100 にオーディオ機器を接続してください。	☞ 12 ページ
	PN-AP100 に音声出力機器が接続されていない。	PN-AP100 にオーディオ機器を接続してください。	☞ 12 ページ
	PN-AP100 の出力レベルが“0”に設定されている。	PN-AP100 の出力レベルを“0”以外に設定してください。	☞ 27 ページ
PN-AP100 の IP アドレスが分からない	—	初期設定に戻せば、IP アドレスの特定が可能です。 PN-AP100 背面の [RESET] ボタンを 5 秒以上長押しして、PN-AP100 を初期設定に戻してください。	☞ 8 ページ

■ PN-AP100 ランプによる状態表示

本体前面部ランプ状態					内容
[STS]	[CH1]	[CH2]	[CH3]	[CH4]	
○	○	○	○	○	電源オフ→起動中
●	○	○	○	○	正常状態
★	○	○	○	●	本機と同一の IP アドレスを認識したため、正常起動しませんでした。 重複した IP アドレスを修正したあと、本機を再起動してください。 『IP アドレスを設定する』(☞ 16 ~ 19 ページ)
★	○	○	●	○	設定データの異常 『メニュー一覧』(☞ 31 ~ 48 ページ)
★	○	○	●	●	ユニット番号が範囲外、または重複しています。 『ユニット番号を設定する』(☞ 10 ページ)
★	○	●	○	○	システムマネージャーとの通信異常 LAN ケーブルなどの接続を確認してください。
★	○	●	○	●	デジタルパワーアンプの異常 お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。
★	○	●	●	●	簡単設定エラー 機器の接続を確認してください。
★	●	●	●	●	ハードウェアの異常 お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

●：点灯 ○：消灯 ★：点滅

メモ:

- システムマネージャーとの通信異常は、通信が正常になるとエラー表示が自動的に解除されます。それ以外は、再起動によりエラー表示が解除されます。
- 長時間エラー状態が継続する場合は再起動してください。再起動しても、エラー状態が解除されない場合は、販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明の点はお買い上げ販売店、または別紙のご相談窓口案内をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはご相談窓口に必要なことをお知らせください。

品名	: IP オーディオユニット
品番	: PN-AP100
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状況をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

仕様

■ 本体

電源 / 定格 : 本体
消費電流 : DC5 V、DC1.5 A 以下
 : ACアダプター
 : AC100 V 50 Hz/60 Hz 10 W 以下

許容動作温度 : 0 °C ~ 40 °C

許容動作湿度 : 20 %RH ~ 80 %RH

外形寸法 : 185 mm x 44 mm x 189 mm
(幅 x 高さ x 奥行き)
(フット、端子部は含みません)

質量 : 1.1 kg

■ 入出力

音声入力 : アナログオーディオ RCA x 2
 : 基準 -10 dBs(最大 +8.2 dBs)
 : 入力インピーダンス 10 kΩ 以上

音声出力 : アナログオーディオ RCA x 4
 : 基準 -10 dBs(最大 +8.2 dBs)
 : 周波数特性 20 Hz ~ 20 kHz

ネットワーク : RJ-45 x 1
I/F : 100BASE-TX FULL-Duplex
Auto Negotiation 対応

制御端子 : RS-232C D-sub 9Pin(オス) x 1
(SERVICE 用)
 : SERIAL プッシュターミナル
 : 2Pin x 1 (エラーログ通信用)

接点入力 : プッシュターミナル
 : 無電圧メイク接点入力
 : 入力ユニット時 : 13 入力
 : 出力ユニット時 : 1 入力

接点出力 : プッシュターミナル
 : オープンコレクタ出力
 : (DC24 V/20 mA 以下)
 : 入力ユニット時 : 1 出力
 : 出力ユニット時 : 13 出力

■ プロトコル

HTTP、RTP、FTP

■ 音声フォーマット

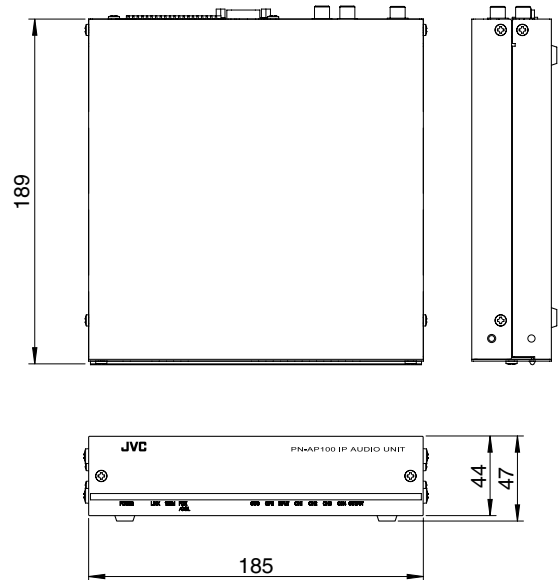
サンプリング : 48 kHz 16 bit

フォーマット : 独自 SB-ADPCM または、LPCM

■ 付属品


保証書	1
ご相談窓口案内	1
取扱説明書	1
安全上のご注意	1
ACアダプター	1
電源コード (2 m)	1

■ 外形寸法図 (単位 : mm)



*本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談センター

 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950 [代表]
FAX (045)450-2275
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12 電話 (045) 443-3152